MVR-100-4 CMS
取扱説明書

Version: 2.000
Date: 2013/3/7

目　次

1. 序文

取扱説明書の利用方法:

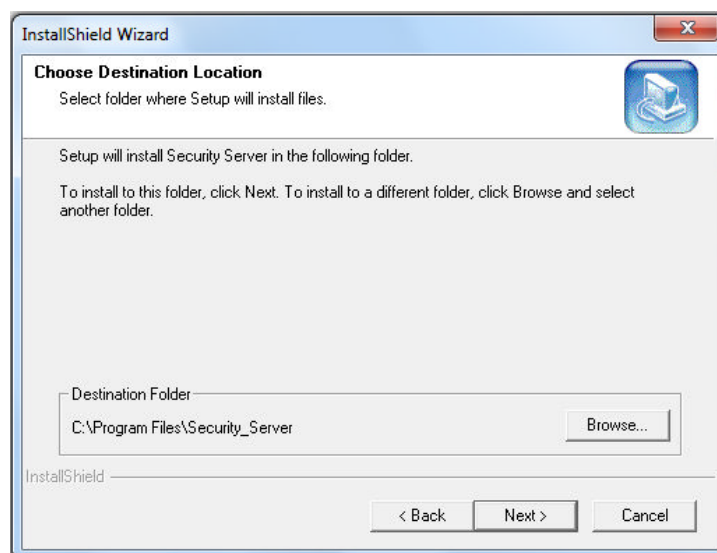
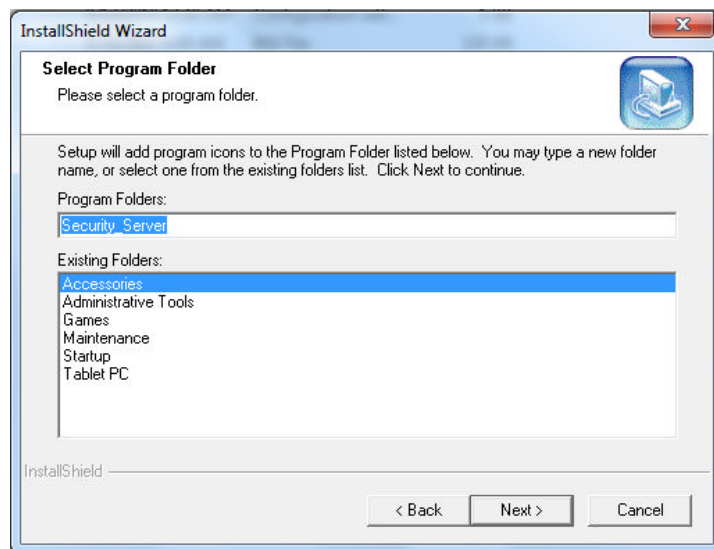
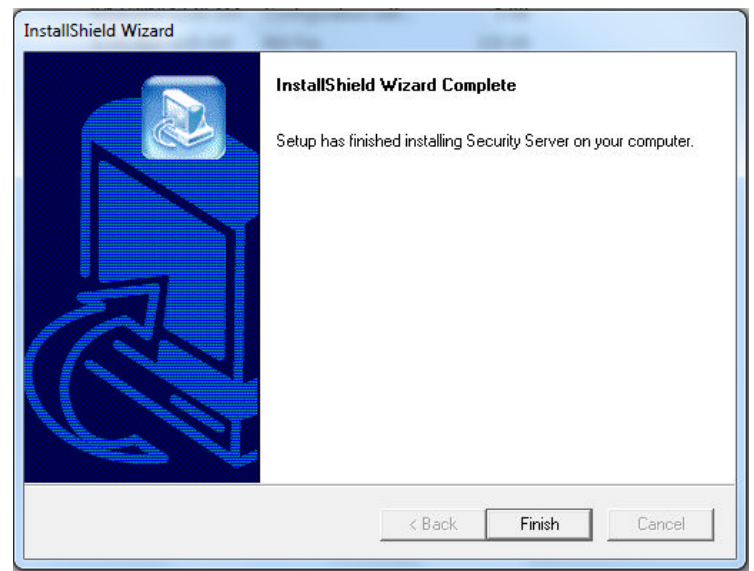
このマニュアルでは、複合機能のすべてを説明しています。MVR サーバーの機能や操作が含まれています。

1.1 ソフトウェアの特徴

A. サーバーのデータベース·システムでは、MVR-100-4 CMSの録画ファイルをスピーディーに検索し、簡単にバックアップの処理を行うことができます。
B. ＰＣソフトウェア上で、簡単にＭＤＶＲの条件設定が行えます。
C. 高度なH.264＆ビデオ圧縮のMPEG-4コーデックを使用することにより、ＨＤＤへの録画や高品質な録画画像再生ができます。
D. 録画: フルタイム録画.
E. 警告: イベント発生報告, 外部入出力.
F. 再生: ＰＣ及びＭＤＶＲに保存された画像や各種情報（画像、音声再生を、データベースでのイベントサーチ、ズームインズームオウトで）を再生表示します。
G. その他: 録画上書き機能, PTZ制御、カメラ映像損失情報。

2. MVR-100-4 CMSソフトウェアのインストール

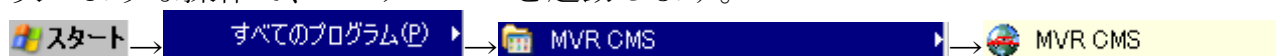
ステップ1: お使いのCD-ROMドライブにインストールCDを挿入してください、次に、MVR-100-4をクリックします。
CMS → Disk → setup →下の図を参照:

ステップ2: インストール先のフォルダを選択して”次へ”をクリックしてください。

ステップ 3: プログラムフォルダを選択し、”次へ”をクリックしてください。

ステップ4:インストールウィンドウ
を閉じるために ″Finish″
をクリックしてください。

3. MVR-100-4 CMSソフトウェアの機能

3.1 MVR-100-4 CMSソフトウェアの概要

このソフトウェアは、MVR-100-4 CMSの機能をサポートしています。
高品質でコンパクトなサイズの画像を生成するH.264のコーデックを採用しました。
高品質でクリアな映像を得るために、ＨＤＤに追加投資する必要はありません。

3.2 MVRの再生機能の起動

ＰＣを起動しＯＳが起動するのを待ちます。
次のような操作で、MVRサーバーを起動します。

注意！：MVR-100-4 CMSで作成したファイルは、MVR-100-4 CMSプログラムでしか削除できません。
Windowsのファイルエクスプローラで、または他の方法によって、ファイルやデータベースを削除したり、削除しないでください、そうしないと、データベースが破損していてうまく動作しないことができる。

MVR-100-4 CMSが起動したら、システムにログインしてください。
〈初期設定〉ユーザー名とパスワードは：1111 です。
セキュリティ上の理由により、サーバーの開始後にパスワードを変更することを推奨します。

3.3矢印で示す5つのアイコンの機能の紹介

図1:

3.3.1 ライブ画像の機能:

下記画面を表示するために を選択してください:

MVR-100ボックス画面でのライブ画像表示。

チャンネル切り替え:

表示しているウィンドウで、マウスの右ボタンをクリックし、"スイッチ"を選択すると、ドラッグバーに表示されます “CH05 CH10:CH10” 。
チャンネルを切り替えるには、バーをドラッグします。
プレビュー表示:

表示ウィンドウ上でマウスの右ボタンをクリックすると、ドラッグバーが表示されます。

画像の3秒前を表示するためにバーをドラッグすることができます。閉じるには"プレビューを閉じる Close PreView "を選択し、マウスの右ボタンをクリックします。"プレビュー"機能を有効にするには、システム設定のセクションを参照してください

Webに接続:
表示しているウィンドウ上で、マウスの右ボタンをクリックすると、選択範囲を表示し、"Connect to Web" をクリックすると、MVR-100セットタップのため、インターネットブラウザが開きます。

PTZコントロール:
表示しているウィンドウで、マウスの右ボタンをクリックし、"コントロールPTZ"を選択します。PTZカメラを制御するために、マウスを使用できます。

ズーム:
表示しているウィンドウで、マウスの右ボタンをクリックし、"ズーム"を選択します。ウィンドウ全体に拡大表示ができます。

3.3.2 GPS地図のライブビュー機能:

下記画面を表示するために GPS をクリックしてください。:

GPSによるMVR-100の場所は、すぐにGoogleマップに表示されます。

（Google Mapを取得するには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。）

マップの右上にある3つの選択肢:

地図: グーグルマップモード

航空写真: 航空写真モード

下記画面を表示するために をクリックしてください。：

左側は、GPSによるMVR-100の場所です。Googleマップで表示されています。
右側は、MVR-100の画面上ライブビデオモードです。

3.3.3. GPSの機能:

下記画面を表示するためにをクリックしてください。:

選択分類項目として、プレート番号、プレートの色、車の色、車種、車名、交通エリア、自動車ブランド、組織名、ドライバ名を選択することができます。

ローカルにデータベースを保存を選択してください、その中から、ローカル再生かMVRからのインポートが選択できます。

開始時間と終了時間は、検索範囲を指定するためのものです。

GPSによる位置情報と記録されたファイルを見つけるために 検索を開始 をクリックします。ファイルリストからマウスを使用しファイルを選択します。

再生速度 1× で、再生速度を1倍、2倍、3倍、4倍、7倍、6倍、5倍、8倍、9倍、10倍から選択します。

下記画面を表示するために OK をクリックしてください。：

< GPSの最後のトラックを選択する場合にクリックします。

\> GPSの次のトラックを選択する場合にクリックします。

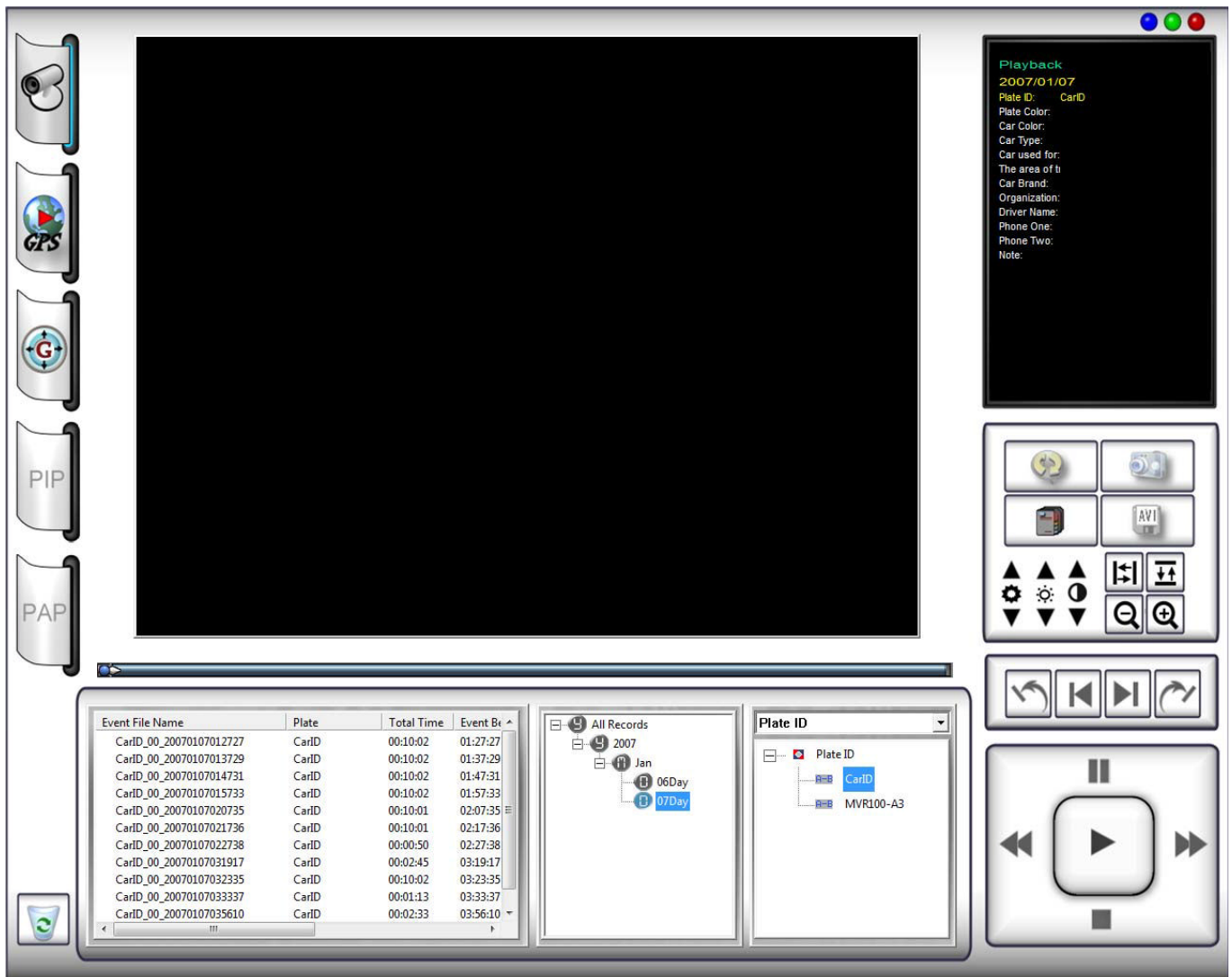
|| GPSのトラックの休止する場合にクリックします。

play GPSのトラックを再生する場合にクリックします。

2010/10/01_19:30:55_GPS normal で、GPS時間からトラックを選択することができます。.

ファイル エクスポート ボタンを押すことにより、CSV形式ファイルで記録できます。

4. Function of Playback:

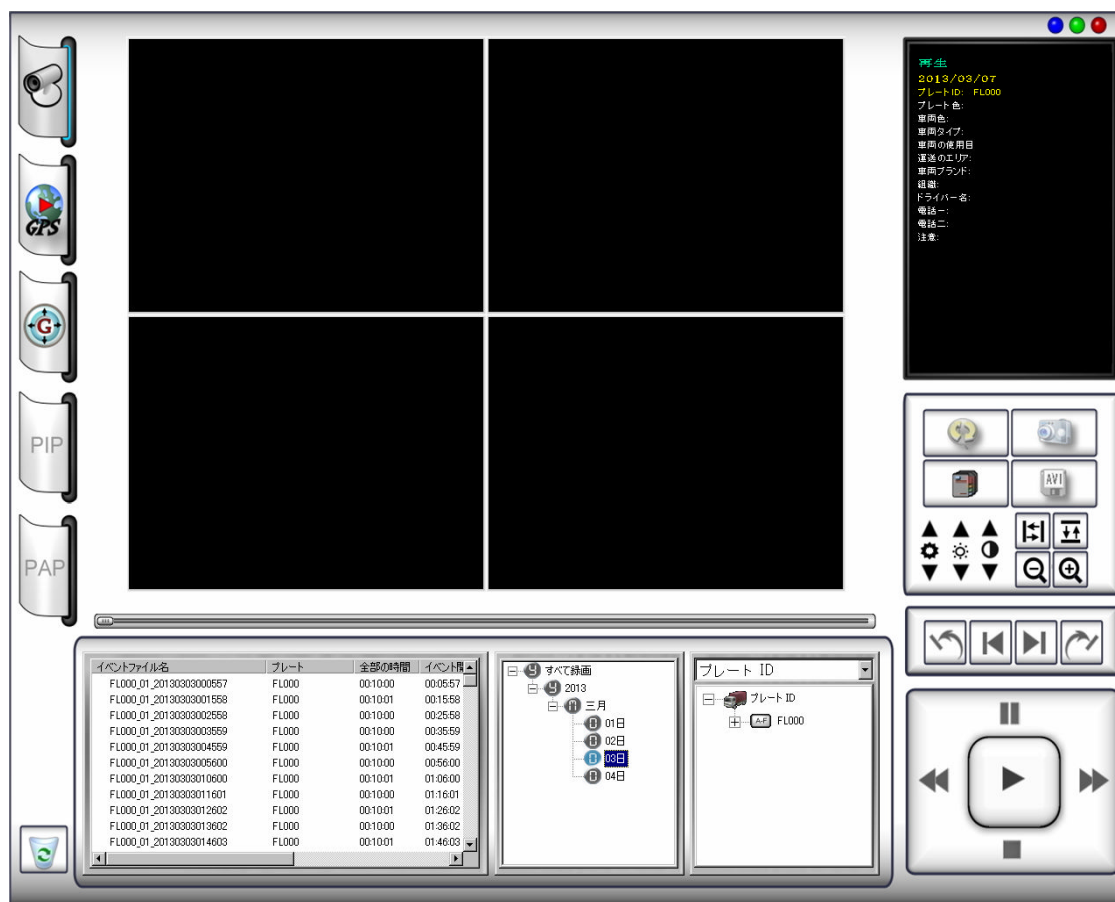
下記画面を表示するためにをクリックしてください。:

ファイルを検索する方法から説明いたします。
関連MVR-100で録画しているファイルの表示から、プレート番号をダブルクリックします。

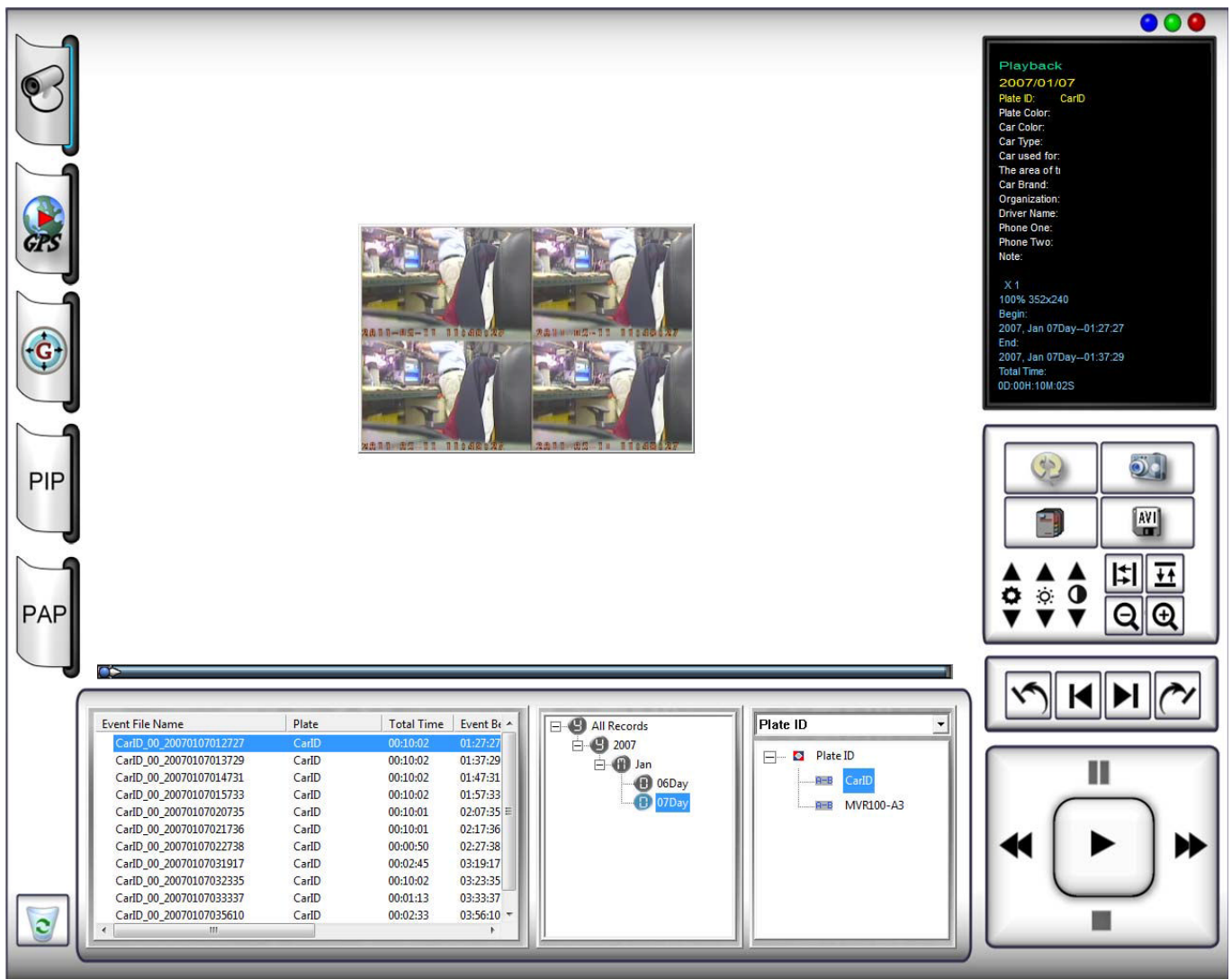
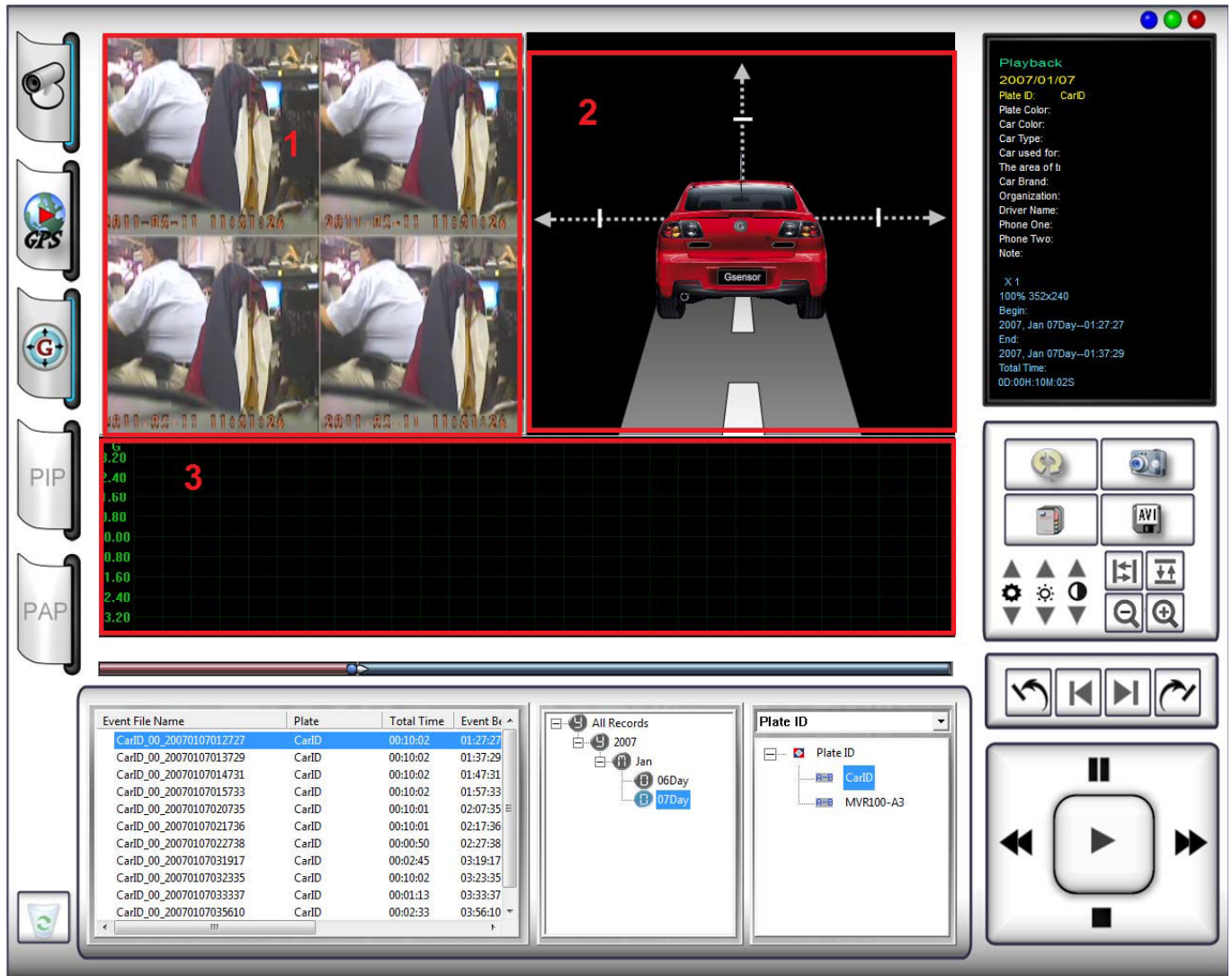
次に、日付を選択してください。
以下のように日付のリストから月日を選択してください。

以下のようにファイルリストで再生ファイルを選択することができます。

Event File Name	Plate	Total Time	Event Begin-
JudyCAR_00_20101005193922	JudyCAR	00:10:01	19:39:22 - C
JudyCAR_00_20101005194919	JudyCAR	00:08:13	19:49:19 - C
JudyCAR_00_20101005195749	JudyCAR	00:10:05	19:57:49 - C

ボタンを押すことにより、録画画像が再生されます。

これから、矢印の 3 つのアイコンの機能について説明します。

4.1. ビデオ再生機能:

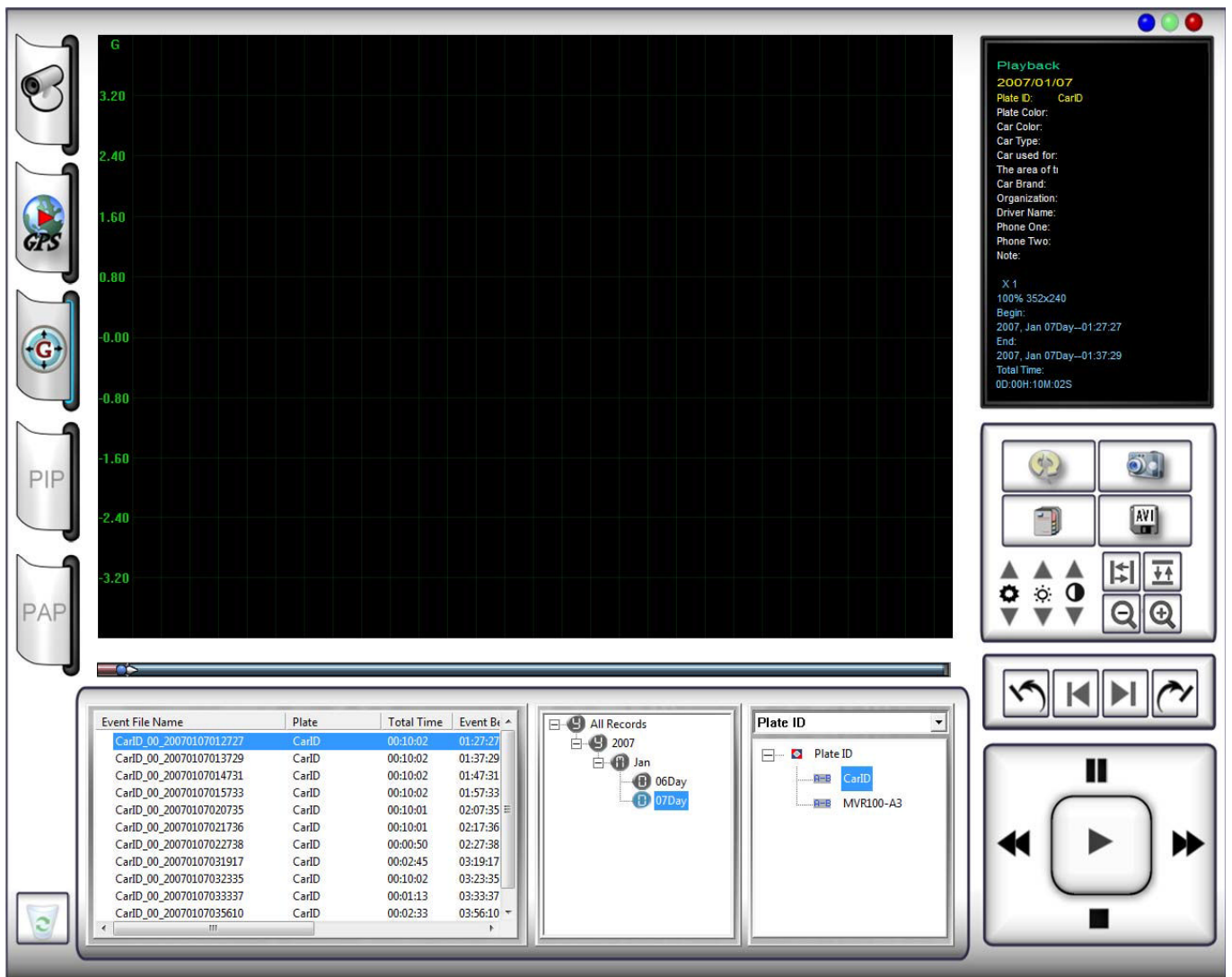
をクリックすることにより，”ビデオ再生”のON、offを切り替えます。
ビデオ再生を選択すると、以下のウィンドウが表示されます：

下記画面を表示するために　　をクリックしてください。

赤枠1は、画像です。赤枠2はGセンサーで、X軸、Y軸、Z軸を示しています。赤枠3は、X軸、Y軸、Z軸の変動曲線です。

下記画面を表示するために GPS をクリックしてください。
通行経路図と録画画像が出ます。：

図1

図2

図1 を押すと、図1と図2を切り替えられます。

図1を表示しているとき、を押すと、下記のように表示されます。：

上図はG-センサーのX軸、Y軸、Z軸のみを表示しています。

4.2. 画像再生＋地図と、画像再生のみの切り替え操作

を押すと下図となります。（注意：再度押すと再生画像のみとなります）

4.3. PIP(ピクチャーインピクチャー)の機能:

PIPの操作は以下のようになります:

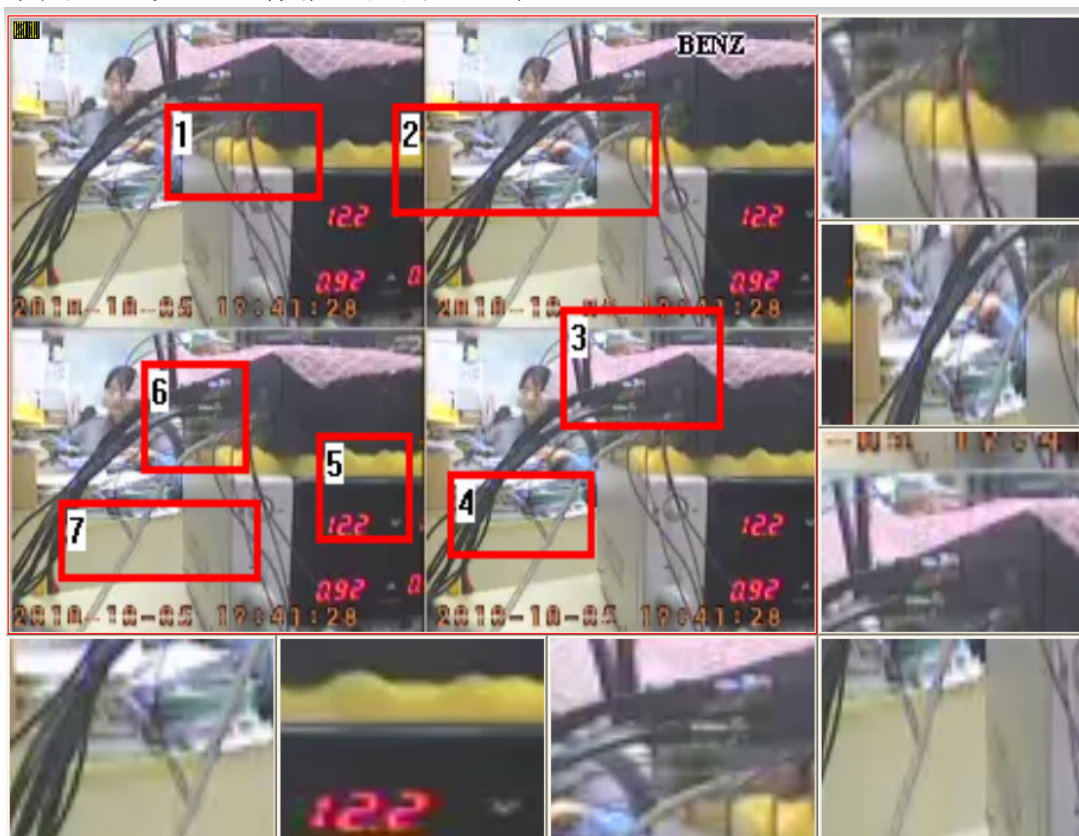
画像再生時
1. まず、チャンネル1を表示します
2. アイコンをクリックします。
3. PIPで表示するファイルを選択する。
4. 選択した画像の表示は小さく右下に表示されます。
5. “play”をクリックする。
6. 右下隅の選択する画像表示上にマウスで四角を描く。
7. メインウィンドウで大きなディスプレイを見ながら四角形を移動します。

下図のようにPIP機能を入力します:

4.4. PAP(部分ズーム)の機能

PAPの操作は以下のようになります:
画像再生時
1. まず、チャンネル1を表示します

2. アイコンをクリックします。
3. PAPで表示するファイルを選択する。
4. 選択した画像はメイン画面に表示されます。
5. メイン画面でマウスで四角を描くとモニター画面に資格囲みのズームが表示されます。最大7画面表示できます。
6. “play” をクリックする。

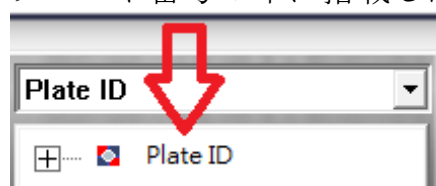
下図のようにPAP機能を入力します:

このプログラムは、バックアップファイルとローカルファイルの再生をサポートし、

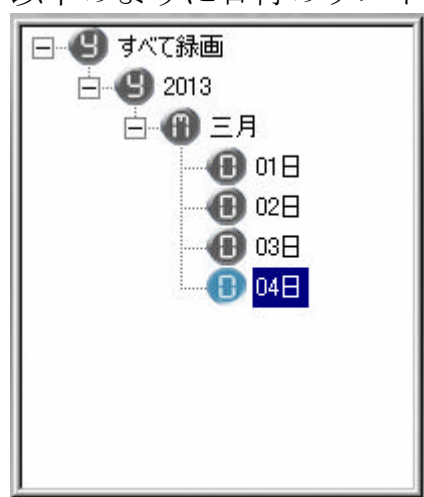
又は ボタンを押すことにより、両者を切り替えられます。

4.5 Backup file

MVR-100のSDファイル形式はext2であるため、バックアップの前に操作（付録A参照）が必要です。

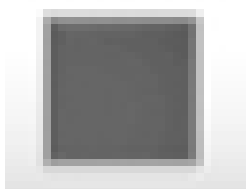
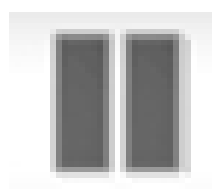
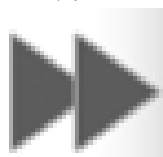
MVR-100に記録された映像を見て、″バックアップ″をする前に、
1. SDカードを使用する場合は、まずext2IFSをインストールする必要があります。
(ext2IFSのインストールについては、付録Aを参照してください。)
その後“Backup”を実行してください。
PCをシャットダウンしても、次回の起動からext2IFSを再インストールする必要はありません。
2. USBインターフェースHDDを使用する場合は、フォーマット無しでバックアップできます。

まず、画像再生において、ファイルを検索する方法について説明します。
プレート番号の車に搭載したカメラで記録したファイルを表示するため、“Plate ID”
をダブルクリックします。

次に日付を選択します。

以下のように日付のリストから、月日を選択してください。

最後に、以下のようにファイルリストで、再生ファイルを選択することができます。

Event File Name	Plate	Total Time	Event B
CarID_01_NO_20100913181350	CarID	00:10:05	18:13:5
CarID_01_NO_20100913182358	CarID	00:10:04	18:23:5
CarID_01_NO_20100913185758	CarID	00:10:05	18:57:5
CarID_01_NO_20100913190805	CarID	00:10:05	19:08:0
CarID_01_NO_20100913191812	CarID	00:10:05	19:18:1
CarID_01_NO_20100913192819	CarID	00:10:04	19:28:1
CarID_01_NO_20100913193825	CarID	00:10:05	19:38:2
CarID_01_NO_20100913194833	CarID	00:10:04	19:48:3
CarID_01_NO_20100913195839	CarID	00:10:05	19:58:3
CarID_01_NO_20100913200847	CarID	00:10:04	20:08:4
CarID_01_NO_20100913201853	CarID	00:10:05	20:18:5

[Buttons]

再生

停止

ポーズ

早送り2X
4X 、8X

スロー再生1/2
1/4 、1/8

次のフレーム

前のフレーム

次の映像

前の映像

ファイル削除

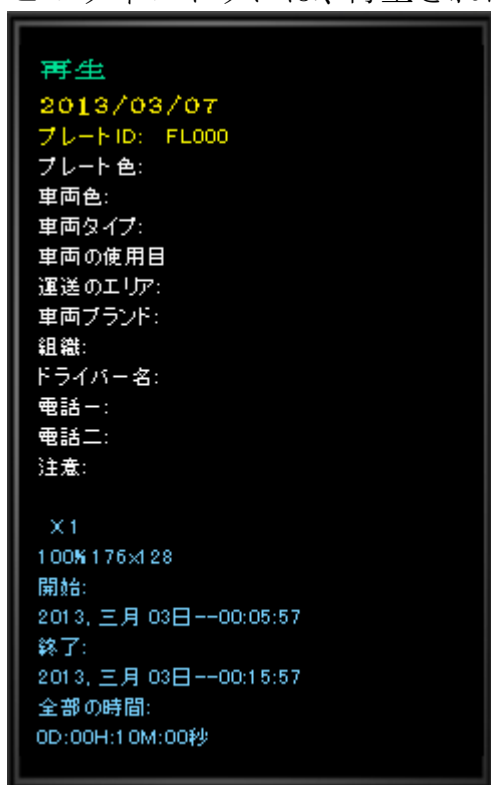
リピート再生

静止画

再生画像縮小

再生画像の拡大

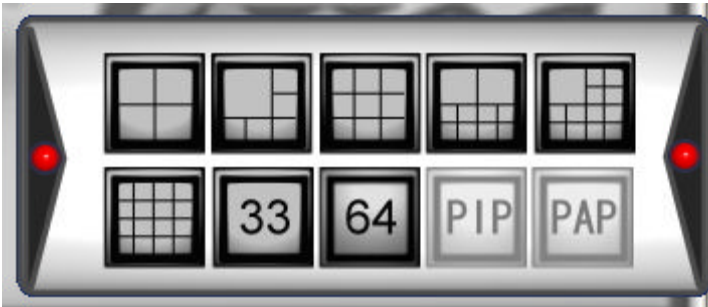
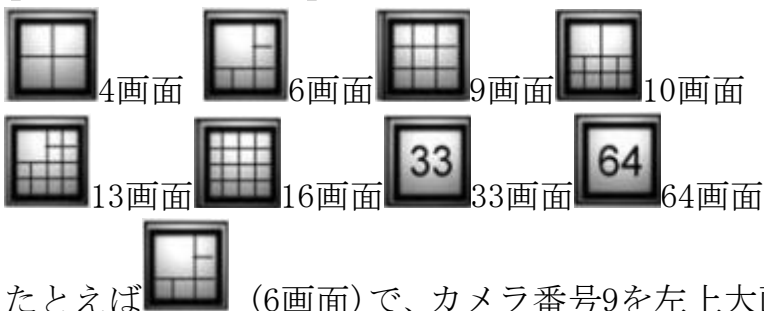
AVIへ記録された
ファイルを保存

加えて、表示窓の下部にある再生ファイルのステータスを確認できます。
このウィンドウには、再生された画像ファイルのすべての詳細情報が表示されています。

1行目の“X1”は、再生スピードをあらわしています。
100%：画像の原寸。
720*480：解像度
以下のようにスライドバー上でマウスをドラッグすることにより、見たいものを再生するために、スライドバー上の任意の場所に移動することができます。
注意！：上記“次のフレーム”，“前のフレーム”，“再生画像縮小”，“再生画像拡大”，“AVIへ記録された画像を保存”，“ファイル削除”ボタンは、再生を停止又はポーズにしてから操作してください。そうしないと、ファイルが予期しないエラーによって破損する恐れがあります。

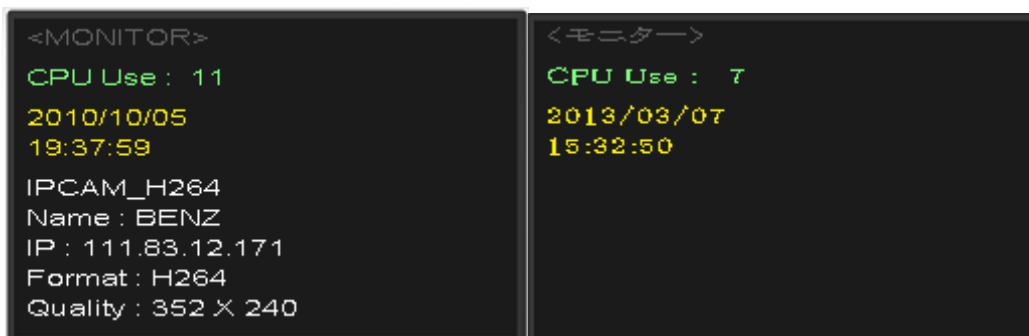
5. 表示するカメラ数選択機能

をクリックすると、以下の表示が表示されます。：

[Screen Division]

4画面 6画面 9画面 10画面
13画面 16画面 33画面 64画面

たとえば (6画面)で、カメラ番号9を左上大画面にクリックアンドドロップすると、大画面はカメラ9となります。その他、カメラ10、11、12、13&14になります。
ランダム順列することはできませんのでご了承ください。

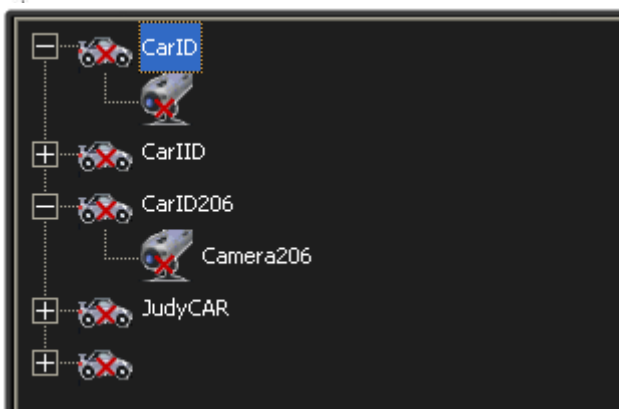
6. 画面右上の表示内容

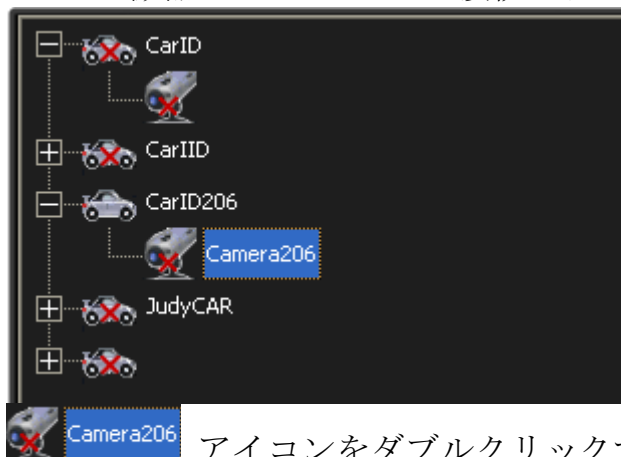
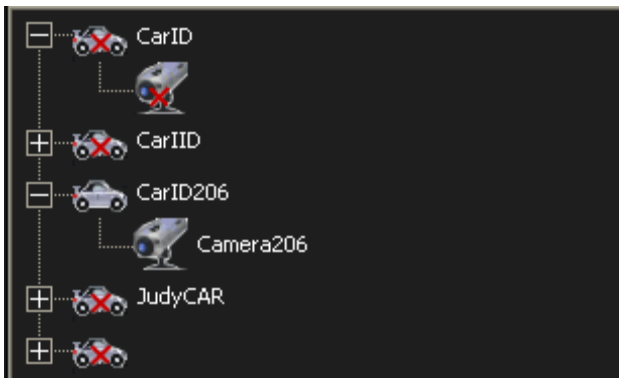
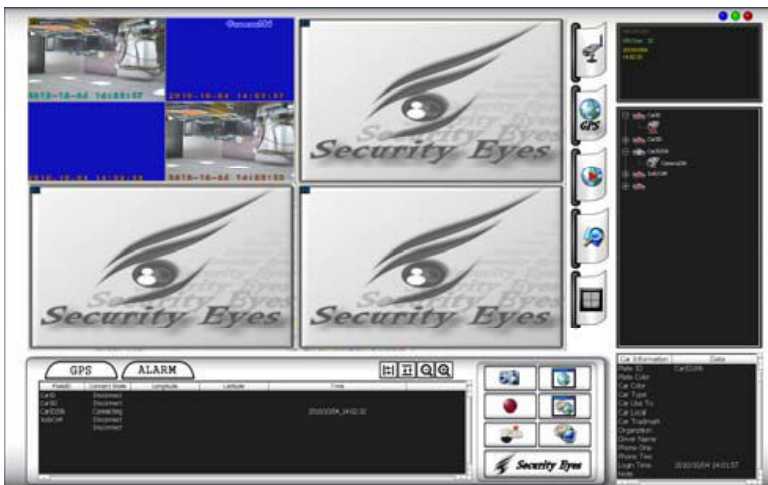
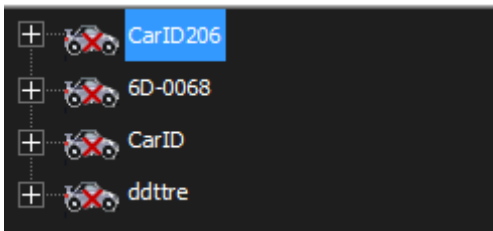
6.1 機器状態の表示:

: モニターの状態

: システムの状態

: VR-100の状態

6.2 画面右中央の表示内容

下記のように表示されます:

MVR-100機器とMVRサーバーとの接続が切れた場合、車両番号とカメラIDアイコンには赤い×印がつきます。

MVR-100機器がMVRサーバーに接続されたとき、CarID206の赤い×印は消えます:

Camera206 アイコンをダブルクリックすると、以下のようになります。:

CarID206 と Camera206の赤×印は消えます。MVR-100機器が、MVRのサーバーにライブビデオを送信するために、次のウィンドウが表示されます。：

また、同じウィンドウでは、以下のようにウィンドウを見ることができます：

"CarID206"にカーソルを合わせ、マウスの右キーをクリックすることができ、次の画像が表示されます：

車両情報編集

"カー情報編集"をクリックすると、以下のようにウィンドウを見ることができます：

車の情報をセットアップした後、終了するには ″変更″をクリックしてください。
車のアイコンを削除するには、″Delete″をクリックします。

6.3 画面右下の表示内容

以下のように画面が表示されます:

車両に関連付けられたすべての情報は、上のウィンドウに表示されます。

7. 矢印で示す6つのアイコンの機能紹介.

次のウィンドウを見るには GPS をクリックしてください:

PlateID	Connect State	Longitude	Latitude	Time
JudyCAR	Connecting	121.535	24.9852	2010/10/05_19:37:5
CarID	Disconnect			
ddttre	Disconnect			
bbb	Disconnect			

“車両番号、接続状態、経度、緯度、時間”の情報が表示されます。

次のウィンドウを見るには ALARM をクリックしてください:

#	Device address	Plate	Alarm Type	Alarm Time	Channel	I/O Input
0	192.168.128.206	CarID206	Video lost	2010/10/04 14:03:36	2	0
1	192.168.128.206	CarID206	Video lost	2010/10/04 14:03:36	3	0
2	192.168.128.206	CarID206	Video lost	2010/10/04 14:03:46	2	0
3	192.168.128.206	CarID206	Video lost	2010/10/04 14:03:46	3	0
4	192.168.128.206	CarID206	Video lost	2010/10/04 14:04:06	2	0
5	192.168.128.206	CarID206	Video lost	2010/10/04 14:04:06	3	0

MVR-100ボックスから任意のアラームは、上記のウィンドウに表示されます。たとえば、上記のウィンドウから、ビデオの失われたアラームメッセージが表示されます。

Flip & Flop , Zoom In, Zoom Out

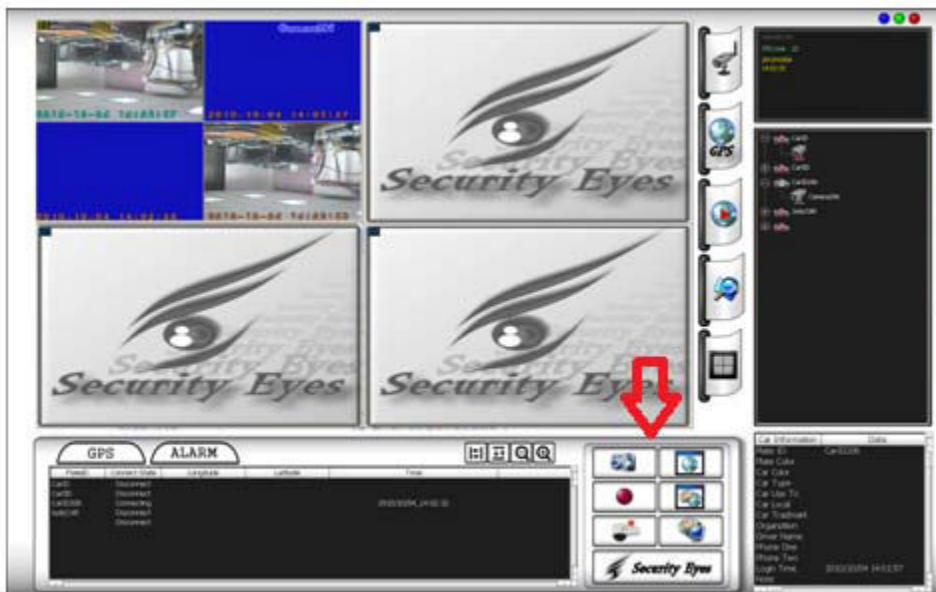
: 左右反転

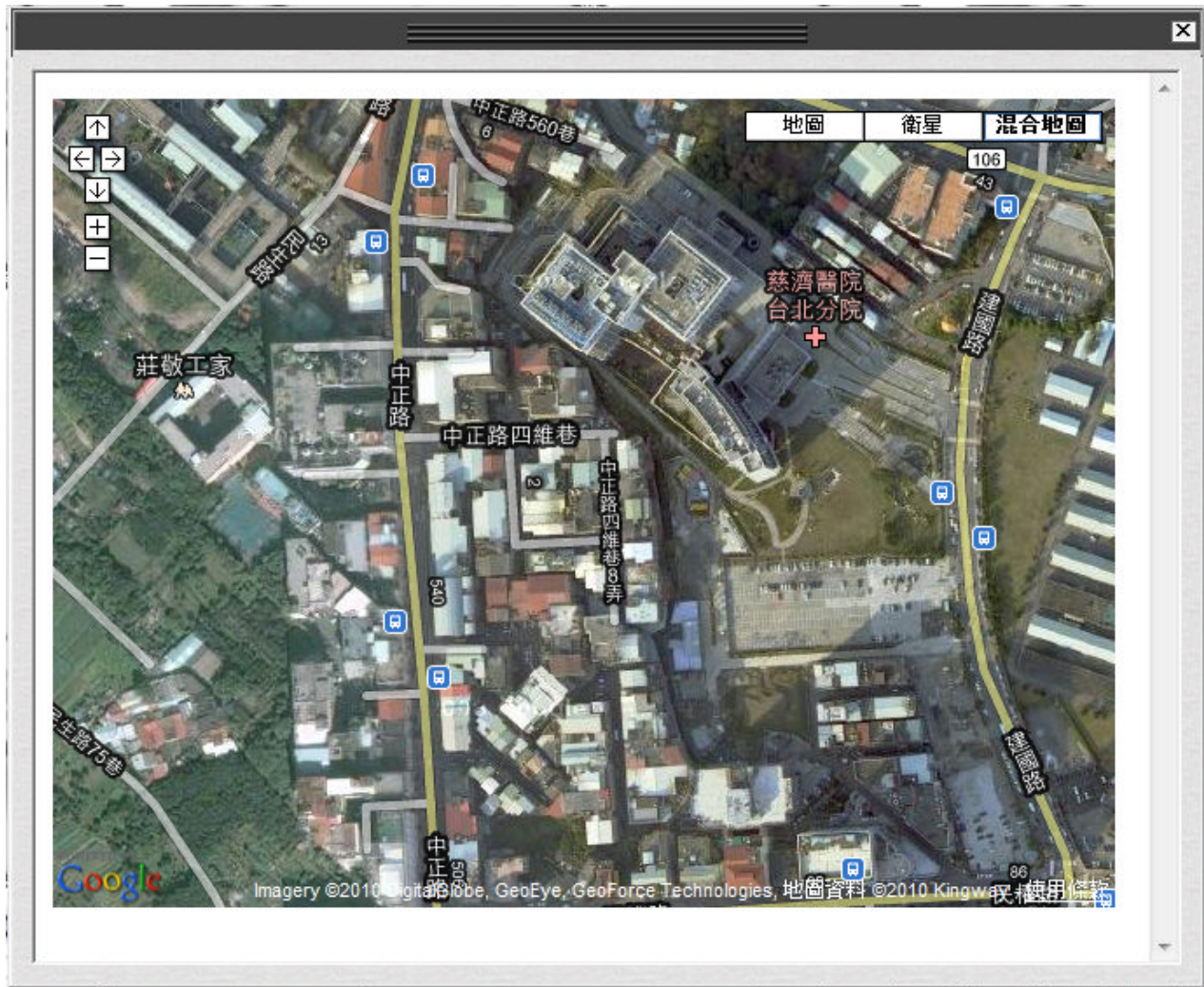
: 上下反転

: ズームアウト(縮小)

: ズームイン(拡大)

注意! : “Zoom In , Zoom Out , Flip & Flop”機能は、MVRサーバ上でのみ使用可能。

矢印で示す7つのアイコンの機能について説明します。

7.1 GPSの地図ライブビューウィンドウポップアップ:

次のウィンドウを見るには をクリックしてください:

すべての関数はGPS地図のライブ表示と、GPSの地図のライブビューウィンドウのポップアップで同じです。
望む場所であればどこでも、ポップ·アップ·ウィンドウを移動することができます。

7.2. Live View Settings of GPS:

次のウィンドウを見るにはをクリックしてください:

車両を表示

シングル-車両　複数-車両　マルチ-マッ　4 ディビジョ

選択された車両のアイコン

車両アイコンを選択: C:¥Program Files¥MVR CMS¥Controls¥bus　ブラウザ

選択されない車両のアイコン: C:¥Program Files¥MVR CMS¥Controls¥bus　ブラウザ

車両アイコンを再現(GPS再現) C:¥Program Files¥MVR CMS¥Controls¥bus　ブラウザ

車両情報を表示

車両番号による選択: FL000

パラメータを表示

最近の歩きを表示　最大ステップ: 30

マップコントロールを表示中(マルチビュ　GPS読取フォーマット: 度,分

情報ウィンドウを表示中　Speed Unit　km/h

Show Map on Second Monitor

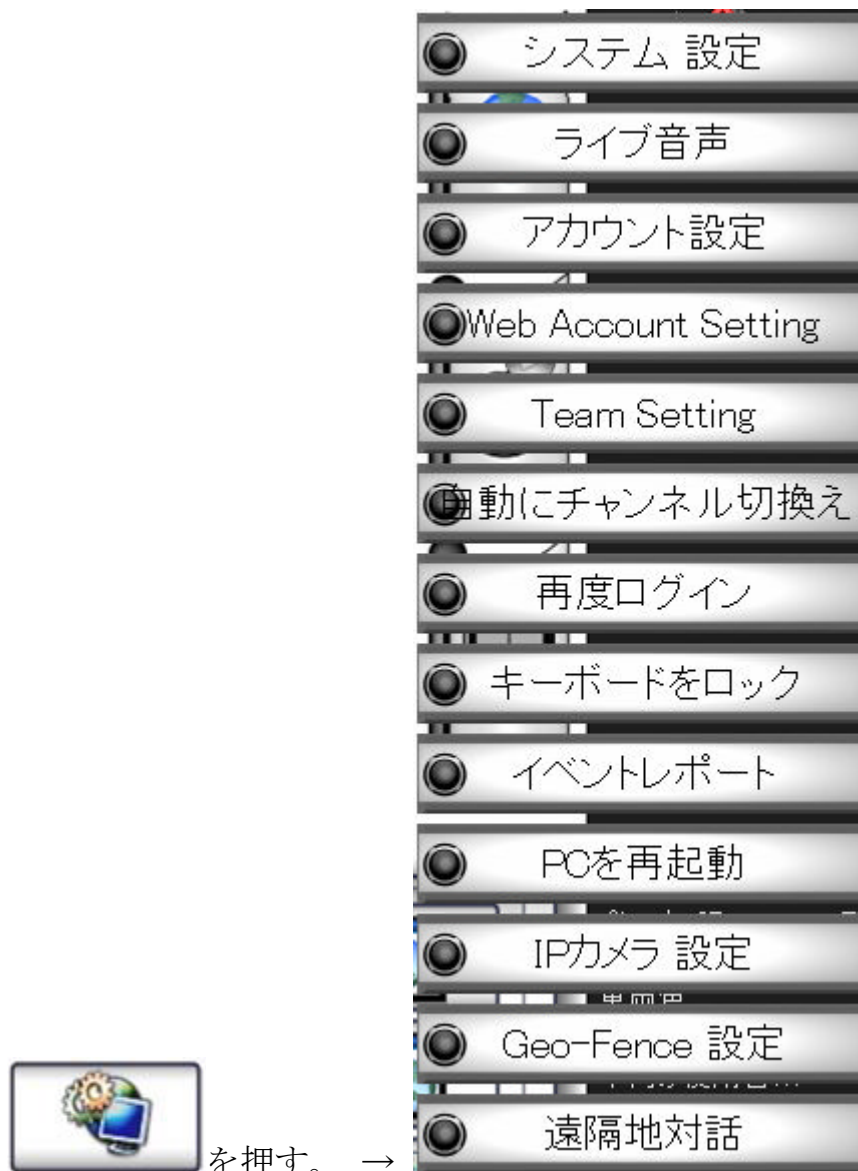
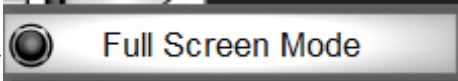
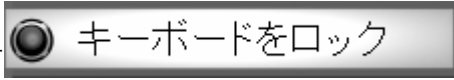
保存

- **表示車両:** 単一地図に1車両表示、単一地図に全車両表示、複数地図に全車両表示から表示モードを選択してください。
- 選択された車のためのアイコン：車のアイコンの画像を変更します。あなたは、イメージファイルのパスを選択するために"参照"を押すことができます。
- **車の情報表示：**GT-100-GS IDを選択した場合、GT-100-GSに関連付けられている車の情報が（選択肢車）図1の右下に表示され、GPSマップのライブビューを起動した後にGoogleマップに表示されます。

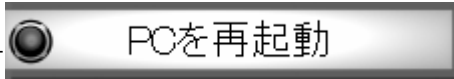
- パラメータ表示： Googleマップ上の情報表示に関する設定です。
  - Show Recent Walk: 車の移動軌跡を表示します。
  - 最大ステップ：このチェックボックス"最近ウォーク"を表示するをクリックしたときに最後のステップの数字によって示される
  - マップコントロール表示：で、ズームなどの表示Googleマップのコントロールボタンを、移動をズームアウトする......等
  - GPSのリーディング形式:あなたは"情報ウィンドウを表示する"チェックボックスをクリックしたときにそれはGPSの表示形式を設定する

情報ウィンドウ表示：チェックした車のアイコンの上にGPS情報を表示

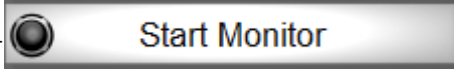
7.3.1 システム設定:

を押す。 →

システム設定ウィンドウに進むには「システム 設定」を押します。詳細は”システム設定”を参照ください。

選択したチャンネルのライブ音声を聞くためには「

」を押してください。

アカウント設定メニューに進むには「

」を押します。詳細は”アカウント設定”を参照ください。

オートスイッチのカメラモードに進むには「自動にチャンネル切換え」を押します。詳細は"チャンネルスイッチャー"を参照ください。

セキュリティソフトウェアのログインを待つ別のユーザーに再度ログインページを促すため「再度ログイン」を押します。

フルスクリーンモードにするために「Full Screen Mode」を押します。
"Ctrl+Alt+Del"を除く、キー操作を受け付けなくするには、
「キーボードをロック」を押します。

イベントログレポートを開くために「

」を押し、詳細は"イベントレポート"を参照ください。

自動再起動するようにシステムを設定するときに「PCを再起動」を押し、クリックし、詳細は"PCを再起動する"を参照ください。

2ウェイオーディオ機能を有効にする「遠隔地対話」をクリックします。
この関数は、IPカメラでのみ使用できます。詳細は"リモートトーク"を参照ください。

「Start Monitor」を押すことで、モニターがONになり、プリセットされた他のすべての機能を有効にします。この機能はセキュリティアイズモードで同じです。

7.3.1.1 System Settings ：

を押すと、下記画面となります。

サーバー名
SecurityEyesカメラサーバー
MVRデバイスログイン設定
アカウント 1111
パスワード 1111
MVRログインポート 7009
Passive Server port 5026
MVRデバイスビデオ接続設定
常に再接続
Rtsp over Http
再接続の試しの間の時間:
10
再接続の試しの時間間隔:
5
IPカメラ受けるアラーム設定
IPカメラアラームポート 8000
設定を開始
監視を開始
Direct Drawを有効
自動ログイン設定
特定の時間にPCを再起動
二台目のモニターに再生します
モニター設定
先行プリビューを使用
映像切れの通知
IO アラーム通知
Gセンサーアラームの通知
Notification of MVR hard disk
Notification of MVR record fail
Web Gps Data Server Setting
Enable Web Gps Data Server
Web Gps Data Server Port 8006
Use Second IP
192 . 168 . 24 . 12
Http Port 80
ストレージ設定
最低限保持スペース
1000 MB
リサイクルを有効
保存パス設定
最大録画時間 10 分
自動パトロール Set
自動パトロールディレイ 3 秒
イベントレポート設定
リサイクル日 90日
Image resolution for mobile devices
320*240
160*120
OK
取消し

サーバー名：

サーバー名
SecurityEyesカメラサーバー

サーバー名：容易にネットワーク上で認識されるために、任意のMVRメインサーバーの名前を入力します。

MVR装置ログイン設定：

MVRデバイスログイン設定
アカウント 1111
パスワード 1111

MVR装置ログイン設定のアカウントとパスワードはファームウェア上のものと同一でなければいけません。

開始設定:
MVR装置ビデオ接続設定:

MVRデバイスビデオ接続設定
常に再接続
Rtsp over Http
再接続の試しの間の時間:
10
再接続の試しの時間間隔:
5

状態を切断されたときとき、再接続することができます。.

再接続の試しの間の時間:
10

再接続を試行する回数を設定します。

再接続の試しの時間間隔:
5

再接続の間隔時間を設定します。

Rtsp over Http

HTTP経由のRTSPをオンにした場合は、MVR-100-4装置から受信するためにポート→80を使用することができます。

IP CAMは、アラーム設定を受信します。

IP CAMのアラーム受信ポートおよびMVRログインポートを変更することができます。
デフォルトでは、IPカメラアラームポート：8000；MVRログインポート：7009。
MVRのログインポート設定は、ファームウェアと同じでなければなりません。

開始設定:
☐ 監視を開始:次回再起動時に自動監視の開始を有効にする時、チェックします。

☐ Direct Drawを有効: 「Directdrawを可能にする」にチェックを入れると、画像再生がスムースになるが、これにはVGAカードが必要となる。

☐ 自動ログイン設定:次のリブート時､SecurityEyesメインサーバのモニターオートログインを可能にする時チェックします。

☐ 特定の時間にPCを再起動:特定の時間にリブートを自動再開させる場合チェックします。

☐ 二台目のモニターに再生します:第2モニターで再生を実行させる場合チェックします。

モニター設定:
☐ 先行プリビューを使用:ビデオディスプレイウィンドウの前の試写を有効にする場合チェックします。表示しているウィンドウ上で、マウスの右ボタンをクリックするとドラッグバーが表示されます。チャネルのバッファから過去3秒のビデオをチェックするためにバーをドラッグすることができます。表示しているウィンドウ上で右ボタンをクリックして閉じます。

☑ 映像切れの通知: 映像損失の警報をE-メールで送信する場合チェックします。
E-メール設定の詳細はシステム設定－E-メール警報を参照してください。

☑ IO アラーム通知: MVRのデジタル入力が起動された場合は、PC（CMSサーバー）のスピーカーからビープ音がでます。

☐ Gセンサーアラームの通知:Gセンサーアラーム有効をチェックすると、Gセンサーの値が、MVR-100-4装置のG値より44 /74以上である場合、MVR-100-4 CMSにアラームが送信されます。

記憶装置設定:

チェックボックス選択で記憶装置の最小容量、上書き設定、記憶装置のパスを選択することができます。記録データベースのMVRサーバーのストレージを設定します。システムドライブ（例C：ドライブ）以外のストレージに設定することをお勧めします。

オートパトロール設定:

チャネル切り替えの遅延時間を、1ー20 秒の間で変更できます。デフォルトは 3 秒です。

イベント報告設定:

イベント報告の設定：ログファイル（イベント報告）リサイクルの遅延時間を変更することができます。日数経過後、システムはログファイルを一旦消去し、再びイベント記録を開始します。

7.3.2 Account Setting:

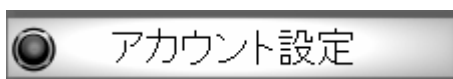
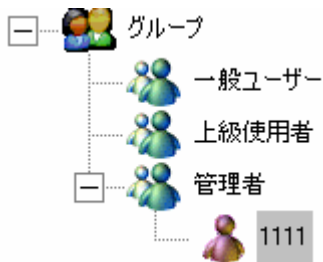
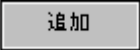
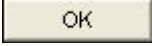
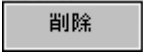
を押すと、以下の画面になります。:

アカウント設定

グループ
一般ユーザー
上級使用者
管理者
1111

ユーザー名 1111
パスワード 1111
ユーザーレベル 管理者
次回からこのアカウントを使って自動ログイン.
このアカウントを無効に

システムパラメータ設定
アカウント, パスワード変更(管理者のみ権限を持ちます)
PTZを使用

追加 削除 修正
システム
閉じる

注意!:設定メニューに一人の管理者として、既定の“1111”リストが表示されています。
セキュリティー上の理由から、できる限り早急にアカウント名と暗証番号を変更することを推奨します。
しかし、少なくとも1つの管理者は必要で、再度アカウントの設定を変更することができないことに注意してください。
アカウントリスト:アカウントを追加または削除した後、アカウントリストでそれらすべてを見つけることができます。

<既定管理者: 1111>

新しいアカウントを追加する方法：リストに新しいアカウントを追加する 追加 ボタンをクリックしてください。
まず、一般ユーザー、高度なユーザーまたは管理者のグループを選択します。
次に、入力アカウント名、パスワードとアカウントの設定を確認してください。
最後に OK を押し、リストに入ります。.

アカウントを削除する方法：一般ユーザのアカウント名、高度なユーザーまたは管理者グループを選択してください。
そこで 削除 を押し、リストから削除してください。

アカウントを変更する方法：一般ユーザのアカウント名、高度なユーザーまたは管理者グループを選択してください。
その後、アカウント名、パスワードとアカウントの設定を変更します。
最後に 修正 を押し、リストを保存します。
入力アカウント名、パスワードとオートログイン機能のために。
を押すと入力文字を隠すために隠すためにパスワードを****で表示します。
を押すと、実際のキーボードを使わずに入力するための、アシスタントキーボードを有効にします。

システム· ビューで、各アカウントの権限の範囲を設定します。

- ☑ システムパラメータ設定
- ☑ アカウント, パスワード変更(管理者のみ権限を持ちます)
- ☑ PTZを使用

7.3.3 自動カメラ表示切替:

チャンネルの自動切換えを開始する"オートスイッチカメラ"をクリックしてください。この機能を有効にした後、画像表示は、5秒（規定値）おきに、カメラが切り替わります。カメラ切り替えの間隔は、 システム設定 - オートパトロール設定で変更できます。

7.3.4 Event Report:

"システム設定"をクリックし、リストから"イベントレポート"を選択することができます。

Event Report を押すと、以下の画面になります。:

"プレート"の下にMVR-100機器の車両番号が表示されます。

"イベント･フィルターは、"なし、ログイン、ログアウト、IOのアラーム、ディスクフル、無信号、ジオフェンスアラーム、Gセンサーアラーム"から選択できます。

これは、レポートのための検索条件です。

"プレートフィルタ"では、レポートの検索条件のMVR-100機器の車両番号を入力することができます。

"検索開始"を押すと、イベントレポートの検索を開始します。

リストを確認後、終了するには"OK"を押します。

#	Plate	Time	Is Login	IO Alarm	Disk Full	No Signal
0	000acf002384	2010/09/30 18:07:27	Yes	None	None	None
1	000acf002384	2010/09/30 18:08:42	No	None	None	None
2	000acf002384	2010/09/30 18:11:11	Yes	None	None	None
3	000acf002384	2010/09/30 18:15:27	No	None	None	None
4	000acf002384	2010/09/30 18:20:20	Yes	None	None	None
5	000acf002384	2010/09/30 18:21:33	No	None	None	None
6	000acf002384	2010/09/30 18:22:41	Yes	None	None	None
7	000acf002384	2010/09/30 18:25:58	No	None	None	None
8	000acf002384	2010/09/30 19:20:45	Yes	None	None	None
9	000acf002384	2010/09/30 19:20:53	No	None	None	No Signal
10	000acf002384	2010/09/30 19:21:58	No	None	None	None
11	000acf002384	2010/09/30 19:22:42	No	None	None	No Signal
12	000acf002384	2010/09/30 19:22:43	No	None	None	No Signal
13	000acf002384	2010/09/30 19:22:45	Yes	None	None	None

7.3.5 PCの定期再起動設定:

自動再起同機能を有効にするには“PCの定期再起動”を押してください。
設定の曜日と時刻を選択します。設定時刻が来ると、PCは自動的に再起動します。

［一定周期にPCを再起動］

自動再起動機能を有効にするには、 ″特定の時間に PC を再起動″のチェックボックスをオンにしてください。周期再起動の曜日（複数可）を選択します。設定時刻が来ると、PC は自動的に再起動します。

7.3.6 IPカメラ設定 – IPカメラの接続設定

自動検索IPカメラ/ビデオサーバの再接続のため "リフレッシュリスト"のボタンを押してください。

注意：IPカメラ検索ツールとは、イントラネットのIPカメラ/ビデオサーバーのみを検索するものです。

AXIS/ VIVOTEK/ソニー/ ArecontビジョンIPカメラ/ビデオサーバを有効にするには、チェックボックスをオンにしてください。

VIVOTEK ネットワークカメラ(サーバー)を検索
AXIS ネットワークカメラ(サーバー)を検索
SONY ネットワークカメラ(サーバー)を検索
Arecont Vision ネットワークカメラ(サーバー)を検索

注意： AXIS/ VIVOTEK/ソニーのIPカメラ/ビデオサーバー機能を有効にするために、NetFrameWork2.0をインストールしてください。

1. <-- 追加を押すと、次の画面となります。：

Server category動作に適したカテゴリを選択してください。そうしないと機能しない可能性があります。

Server Category	Definition
IPCAM	Mpeg 4 IP Camera/ Video Server
AXIS	Axis IP Camera/ Video Server
VIVOTEK	VIVOTEK IP Camera/ Video Server
IPCAM_H264	H.264 single channel of IP Camera/ Video Server
IPCAM_H264_2	H.264 twin channels of IP Video Server
IPCAM_H264_4	H.264 four channels of IP Video Server
DVR-80X	DVR 80X series
SONY	SONY IP Camera/ Video Server
Arecont_Vision	Arecont Vision Camera/ Video Server

IP アドレス

IPカメラ/ビデオサーバのIPアドレスを入力してください。

ユーザー名

パスワード

パスワードを確認

IPカメラ/ビデオサーバのユーザ名とパスワードを入れてください。

コマンドポート

データポート(RTSP)

アラームポート

Httpポート

コマンドポート、データポート、アラームポートとHTTPポートを入力してください。

接続タイプ

ストリーム

デコードタイプ

IPカメラ/ビデオServer/DVR-80Xのストリーム接続タイプを選択してください。

接続タイプ　UDP　TCP　Multicast　RTSP/HTTP

IPカメラ/ビデオサーバのストリーム転送タイプを選択します。

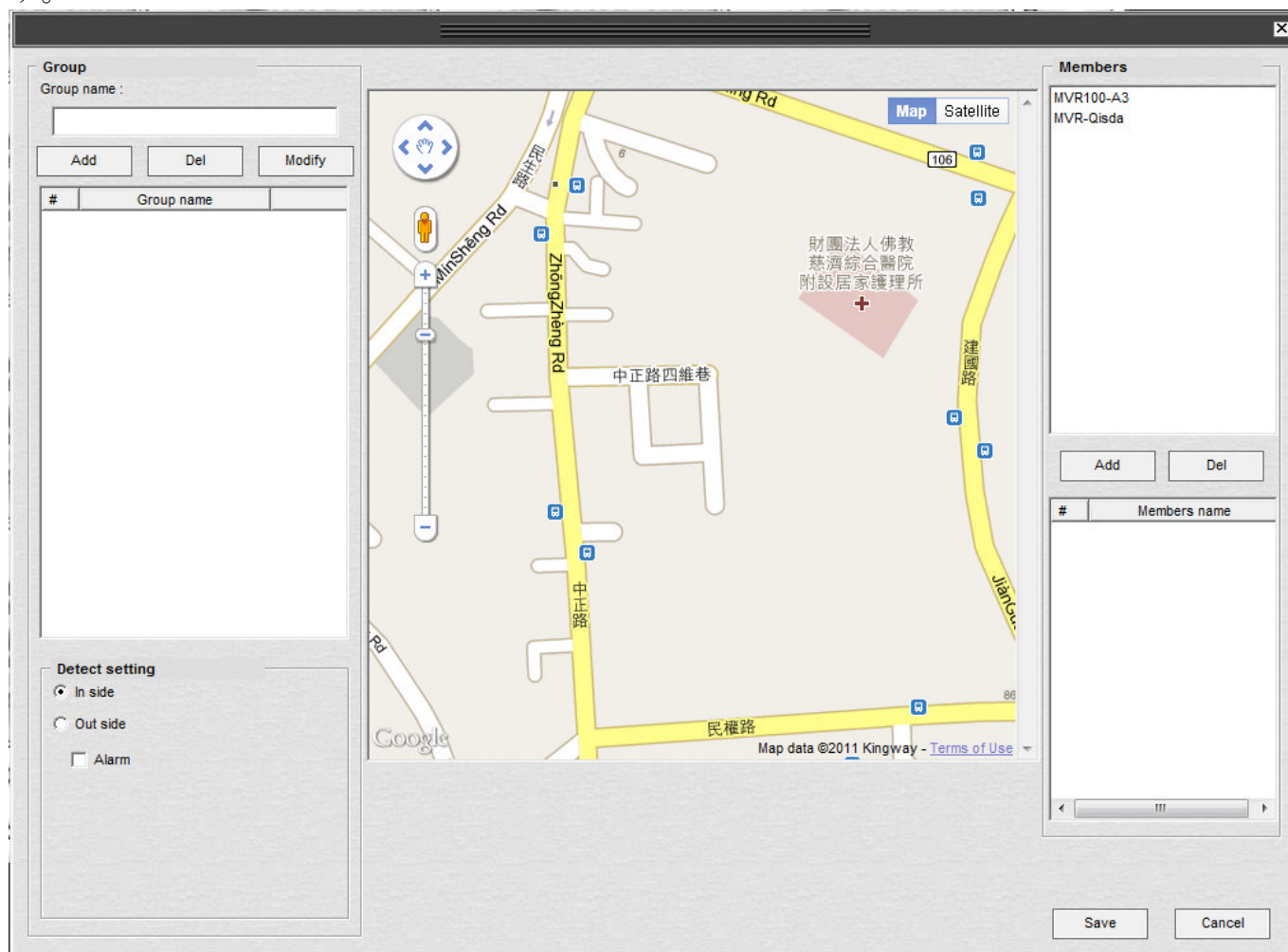
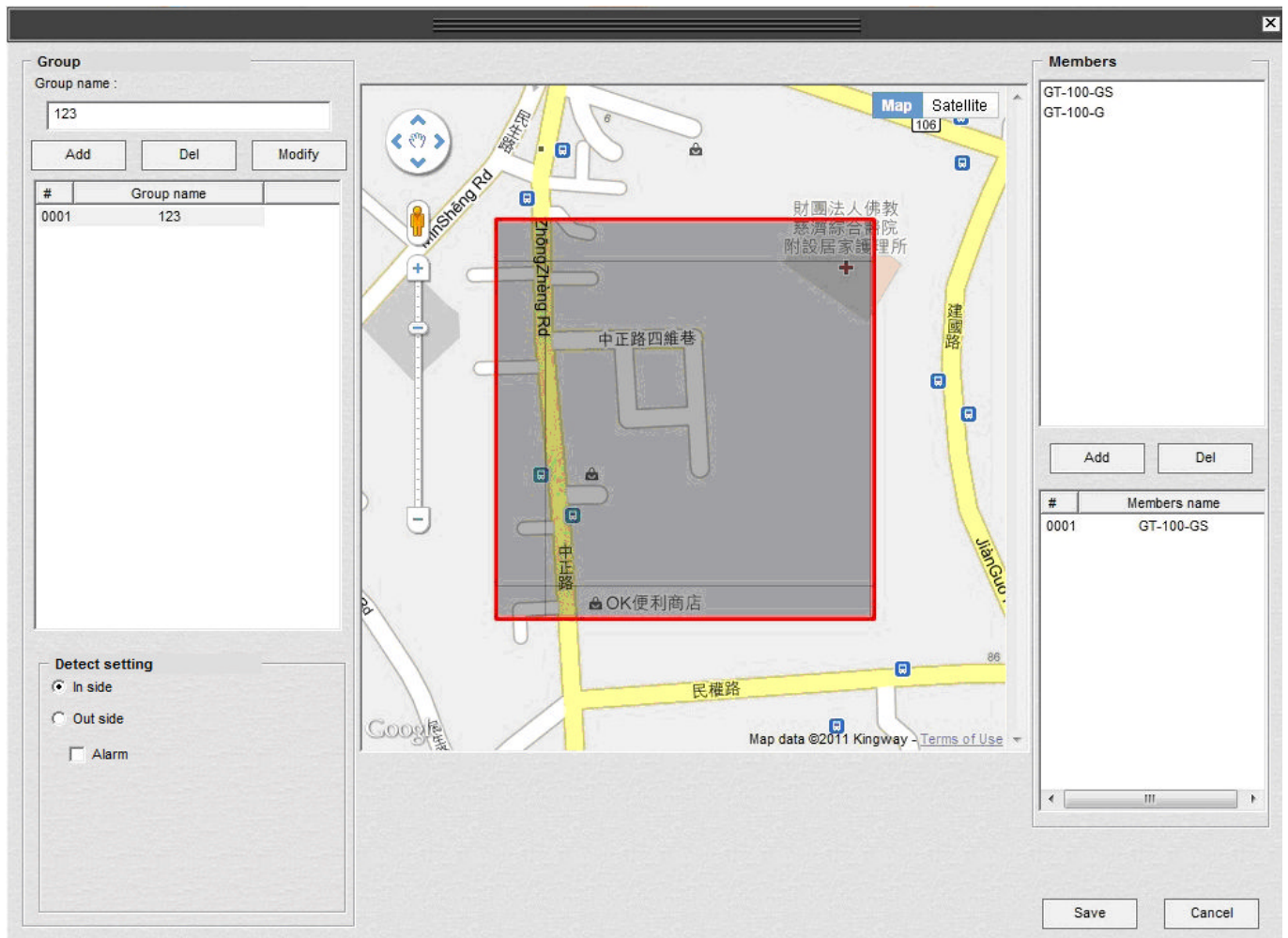
ストリーム　1　2　3　4

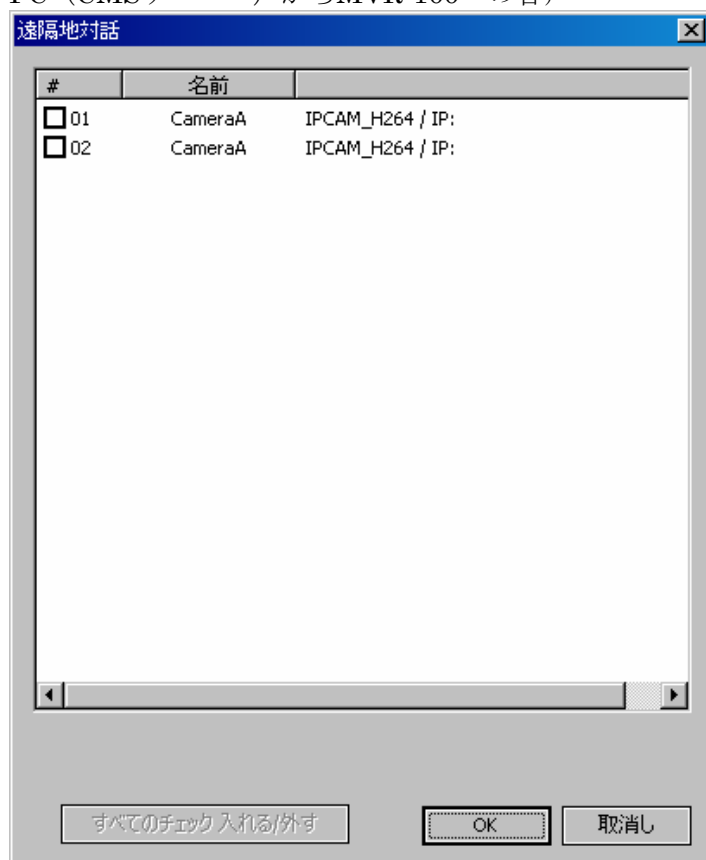
接続ストリーム番号を選択します。

Connect Type　VideoAudio　Only Video　Disable

IP CAMの信号内容を選択します。
リストに追加するには、″追加″をクリックします。
″すべて切断″をクリックして、すべてのIPカメラを取り外すことができます。
すべてIPカメラを外してください、次にIPCAMの″変更″または ″削除″クリックします。
リストから削除する場合、″削除″をクリックします。
既にリストされてきたデータを修正するには、″修正″をクリックしてください。

7.3.7 設定区域外警告:

Geo-Fence 設定を押すと、次の画面となります。:
この機能は、CMSサーバが定義された制限エリアへの進入、退出する車両を検出した時、アラーム、電子メールまたはデジタル出力によるアラームメッセージで警告するものです。

1) グループ:別のフェンス·グループを作成したり管理する。
2) 設定の検出: アラーム条件を設定します。この設定で、領域内又は領域外の車を検出することができます。設定するアラームを決めます。
3) Members: GPSのトラッカーはすべてメンバーの下に表示されます。次に、いくつかのGPSのトラッカーをクリックし、フェンス・グループにそれを含めるために「加える」をクリックすることができます。また、GPSのトラッカーは「メンバ名」の下に表示されます。異なるフェンスグループのGPSトラッカーを管理します。 1つのトラッカーは、多くの異なるグループに参加することができます。
4) Google map: いくつかの長方形の頂点となるいくつかのポイントにカーソルを移動したときに1柵、毎回の限定された領域を定義してから、別のポイントにカーソルを移動すると、矩形が形成される。四角形は、定義したいフェンスです。

7.3.8 通話機能:

PC（CMSサーバー）からMVR-100への音声

MVR-100の双方向音声機能を有効にすることができます。

[OK]→ クリックすることで、設定保存して戻る。

[取消し]→ クリックすると、保存せず戻る。

7.3.9 モニター開始:

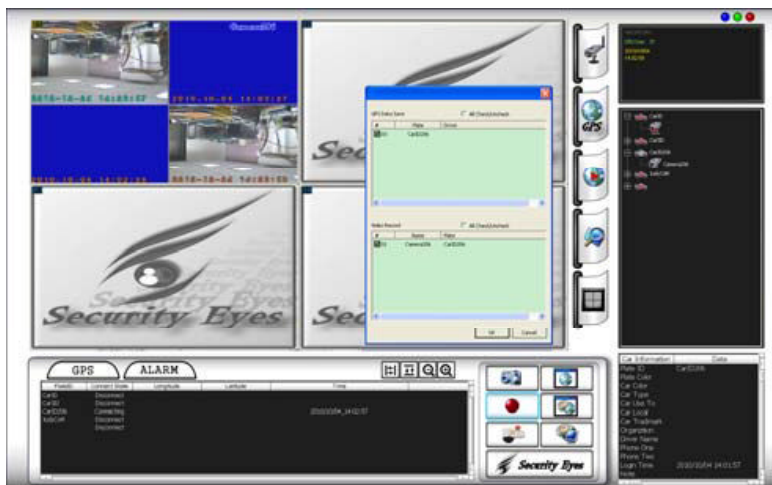
“✓Start Monitor” を押す。

7.4 Snap a picture:

Click [camera button] to have a snapshot and shown as below diagram.

- ：Click to close this window.
- ：Click to save the selected.
- ：Click to delete the selected
- ：Click to save the snapshot for desktop.

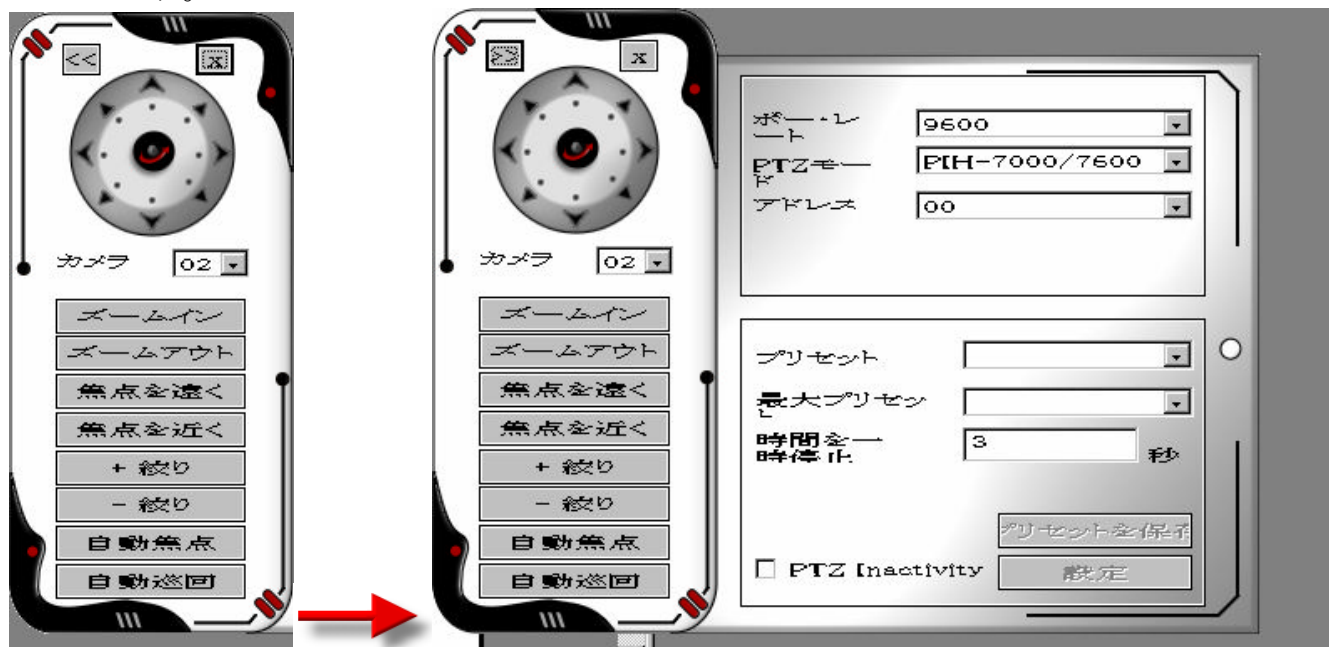
7.5 Record:

After turning off the monitoring, then click you can see the following window:

あなたは、MVR-100ボックスからGPSデータをPC上で保存、記録したい場合は、ウィンドウの下に、☑03 CarID206 をチェックします。

☑01 Camera206 CarID206 MVR-100機器で保存されたビデオを入手し、PC上でそれを記録するかどうかを確認します。

注意！：切断された場合はいつでも、再度ボックスを再確認する必要があります。

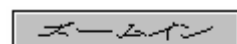
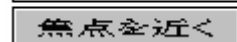
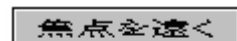
7.6. PTZ control：

PTZのコントロールパネルを入力する場合にクリックします。PTZの詳細設定を表示するにはクリックしてください。再度クリックで、詳細設定を閉じてシンプルモードになります。

まず最初に、使用するPTZにしたがって、PTZモードを選択してください。次のようなPTZタイプをサポートしています。PIH-7000/7600、PELCO D、NICECAM MP-1800、CANNO VC-C4、FastraxのⅡ、AcutVista、DynaColorとSD- Serials。
この後、PTZカメラ設定を確認してください。これでPTZがコントロール可能となります。

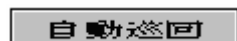
Camera 01 → PTZ設定後、PTZカメラに関連する正しいカメラ番号を選択してください。

: 上へ　: 下へ　: 左へ　: 右へ

絵としてのPTZ自動パトロールの速度を調整するために

を選択.

ズームイン
ズームアウト:ズームインまたはズームアウトするPTZカメラを制御することができます。

焦点を遠く
焦点を近く: PTZを遠方へ焦点、近接へ焦点と操作できます。

＋ 絞り
－ 絞り: 絞りの調整ができます。

自動焦点: PTZカメラのオートフォーカス

自動巡回: 撮影位置のオートクルーズ

指定位置をセット済の"Preset"の番号（たとえばpos1）を入力して、設定した位置へ繰り返しPTZを指定位置に移動させる。
次に、"オートクルーズ"をクリックすることで、PZTのカメラはシーケンスにより、プリセット位置全てに移動します。

7.7. モニター開始:

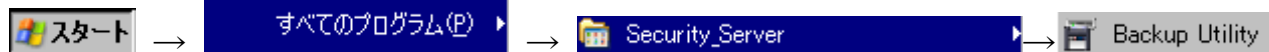
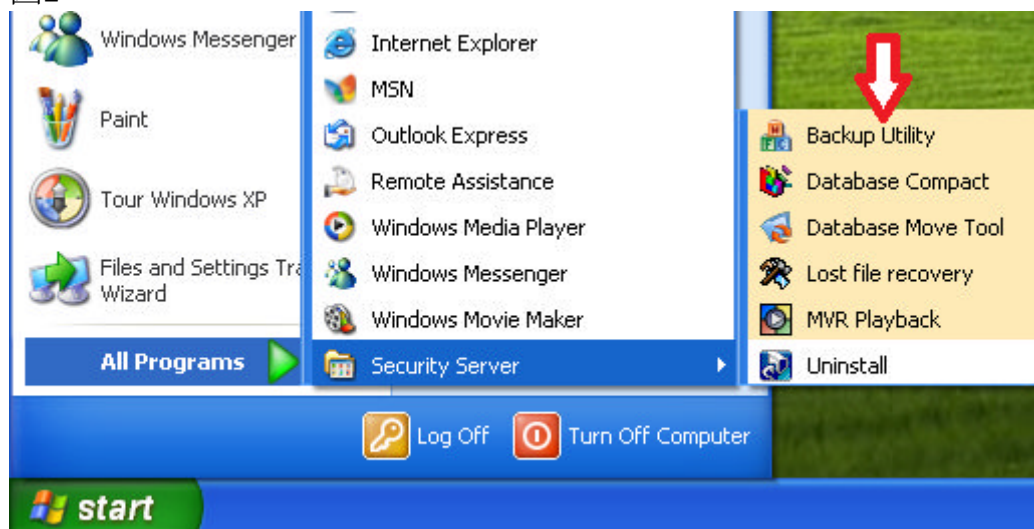
モニター開始又は終了時クリック。

この表示時クリックするとモニターは終了となる。

この表示時クリックするとモニターは開始となる。

8. バックアップユーティリティーの開始

バスが目的地に到着すると、ドライバは、MVR-100のUSBに外付けUSBインターフェースハードディスクを接続し、バックアップボタンを押すことができるようになります。MVR-100のSDカードに記録されたファイルは外付けUSBインターフェースハードディスクにコピーします。

録音したファイルを再生したい場合。 PCの電源をオンにし、下記のように操作してください。

バックアップ·ユーティリティを開始される前に、PCのUSBに接続する外付けUSBハードディスクのインターフェースを接続します。

8.1 HDDへのバックアップ

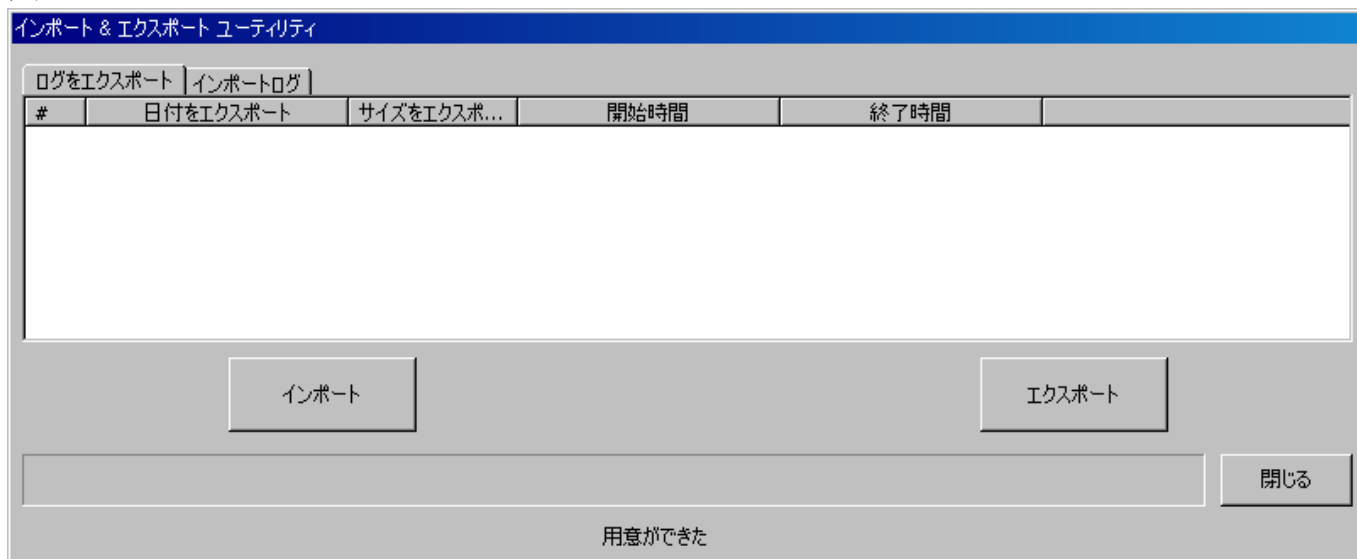
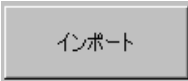
図3:

バックアップユーティリティーを起動すると、以下の画面となります。

ステップ1: インポート PCにUSBハードディスクのファイルをコピーする。
クリックすると、以下の画面になります。:

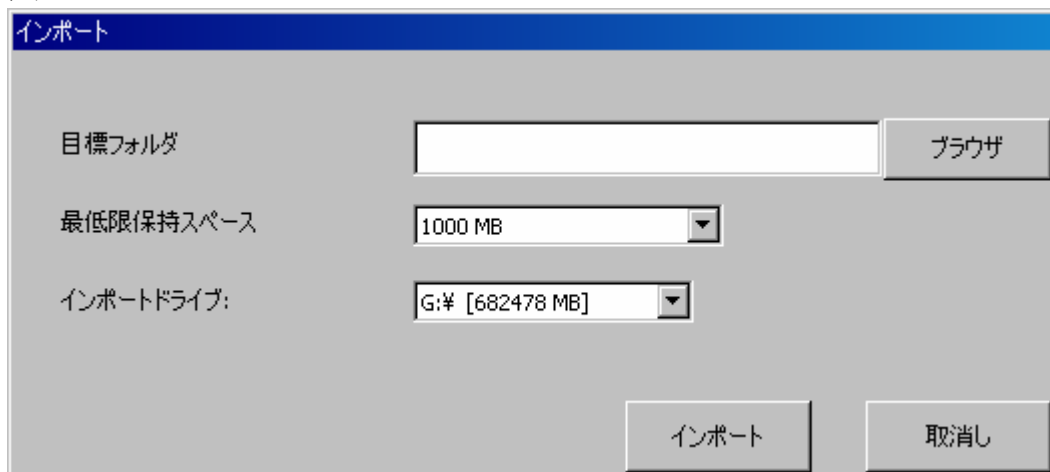
図4:

ステップ2: ブラウザ をクリックする。
ステップ3: "Record"するフォルダーを選択し、"accept"を押す。
ステップ4: ドライブE:のようにインポートするディスクを選択する。すると、ソフトウェアはE:¥Recordにあるすべてのファイルをコピーする。
ステップ4の後，以下の画面となります。:
[1024MB]は、ドライブE:の残要領が1028MBであることを意味しています。

図5：

ステップ5：PCのハード･ディスクにコピーする インポート をクリックします。終了後、プログラムを終了するには、図2の″Exit″をクリックしてください。レコードファイルを再生するには、図1のMVRの再生を使用することができます。

エクスポート をクリックすると、次の画面になります。：

図6：

ステップ1：バックアップ期間の日付と時刻を選択します。

ステップ2： ブラウザ をクリックして、バックアップ用のPCの1フォルダを選択します。バックアップ用ストレージの容量が十分であることを確認してください。

ステップ3：図2の″終了″をクリックした後、バックアップ用のフォルダに移動してバックアップが実行されたかどうかチェックしてください。バックアップファイルは削除できず、ファイル名と形式を変更することはできませんのでご注意ください。、また、それらを後で復元することはできません。

9. データベース再構築

9.1 データベース再構築とは？

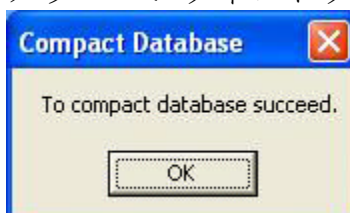
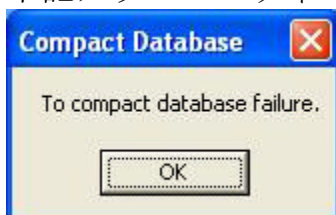
データベース再構築プログラムは、ログを高速スキャン、再構築によりコンパクトで安定するように設計されています。

9.2 データベース再構築が必要な時期？

このプログラム半年または1年に一度は実行することをお勧めします。特に再生時や録音したファイルを検索するときにいくつかの誤りを見つけた場合、このプログラムを実行します。再生のためのデータベースを整理するために役立ちます。通常、一緒に″失われたファイルの回復″を行うとき、このプログラムを使用します。

9.3 データベース再構築の方法？

MVRサーバー（MVR_Player）ソフトウェアをオフにします。
次のように操作します。 START → PROGRAMS → MVR CMS → DATABASE COMPACT

この関数は、MVR Serverソフトウェアによって記録されたデータベースを圧縮するために使用します。他のソフトウェアのデータベース·ファイルをコンパクト化に使用することはできません。データベースCompactを押した後、スキャン、コンパクト化には少し時間がかかります。
メッセージウィンドウ下部に、通知メッセージが表示されます：

終了させるために OK をクリック。
下記メッセージウィンドウが表示された場合は：

OK をクリックしてから、データベースを再度確認してください。

10. MVRサーバーソフトウェアの失われたファイルの回復

10.1 ロストファイルの回復方法？

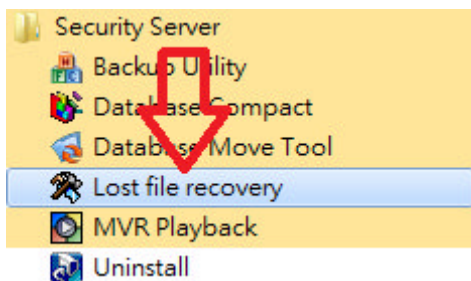
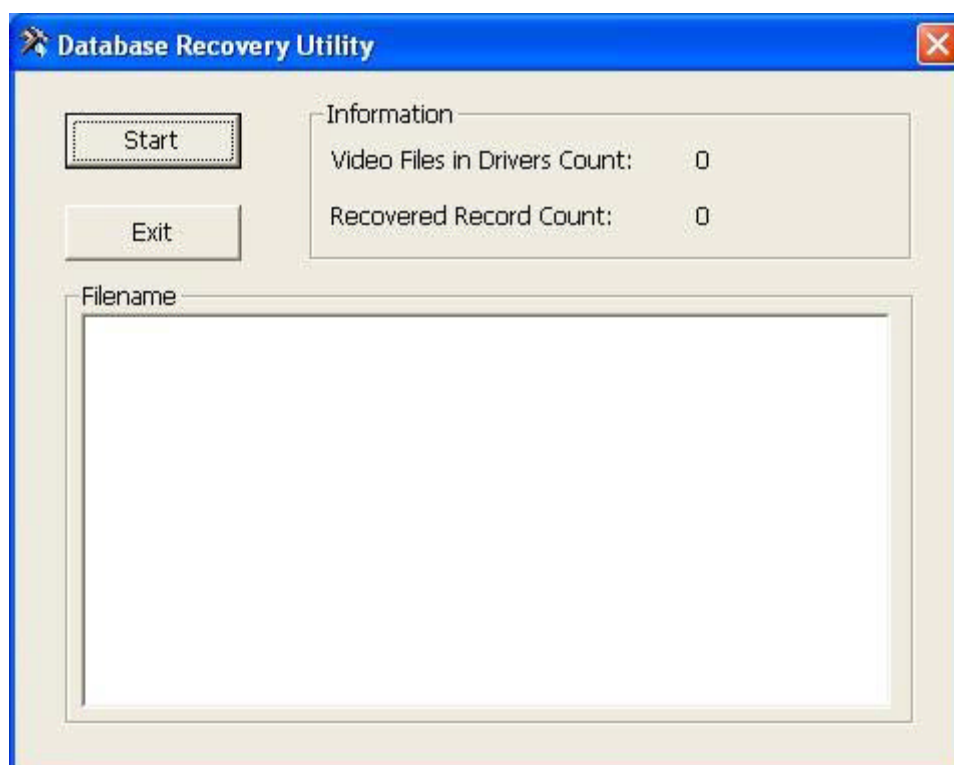
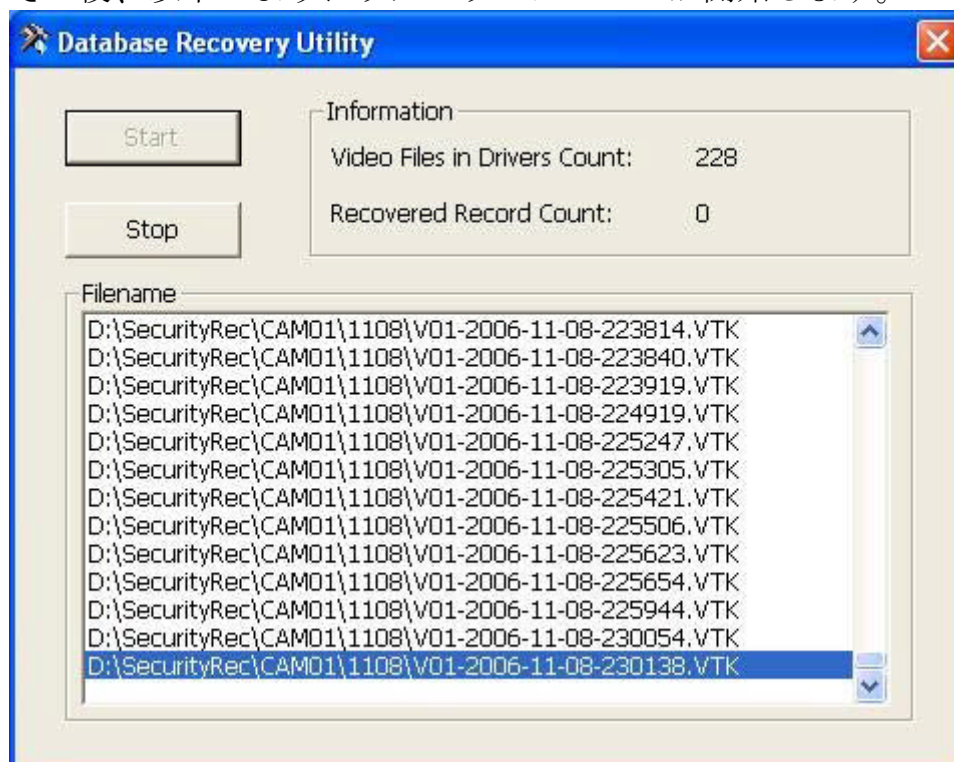
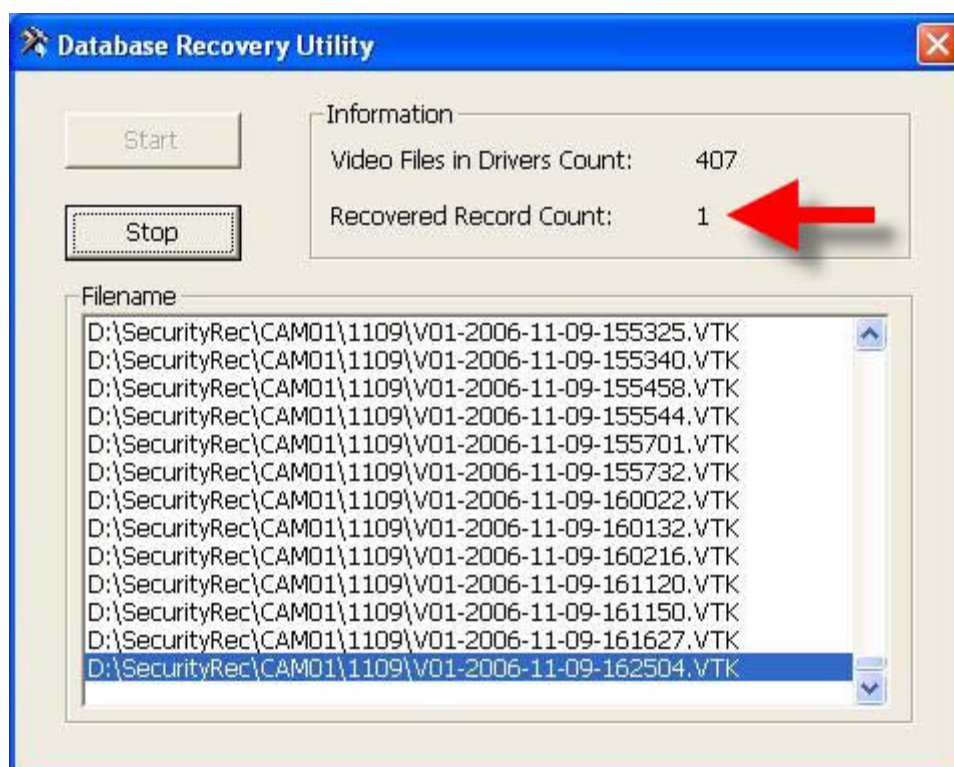
失われたファイルの回復プログラムは、高速スキャンと失われた記録されたファイルを再構築するように設計さています。

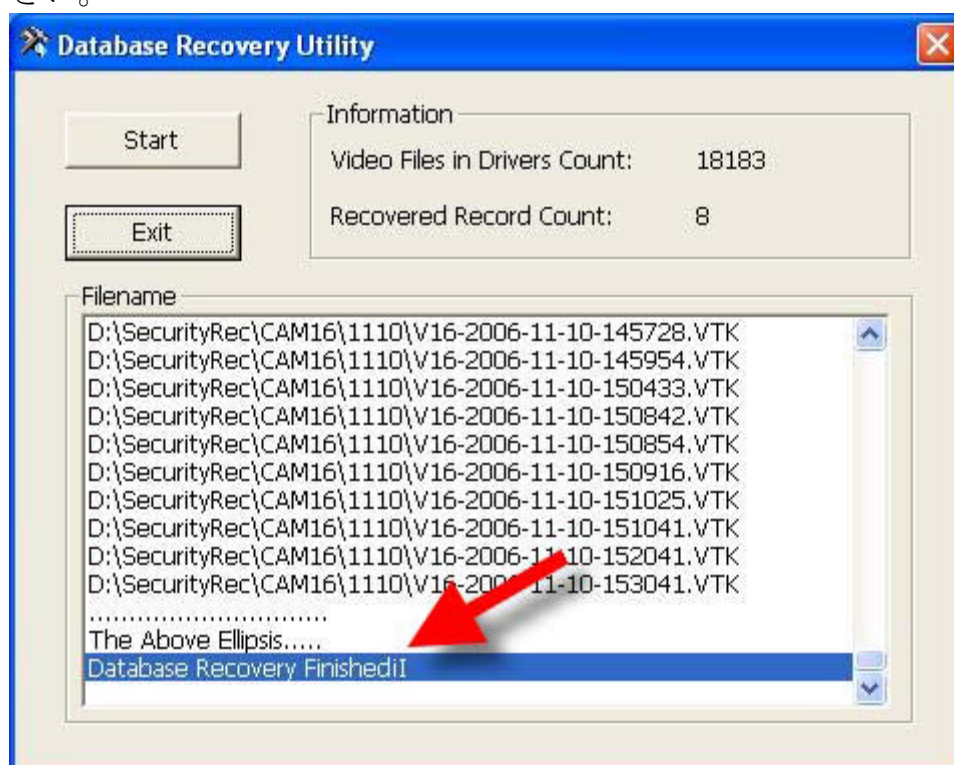
失われたファイルの回復が必要な時？

再生時や録画されたファイルを検索する時にいくつかの誤りを見つけた場合は特に、このプログラムを実行することを推奨いたします。再生のための失われた記録されたファイルを検索し、再構築するのに役立ちます。普段は"データベース･コンパクト"とともに使用します。

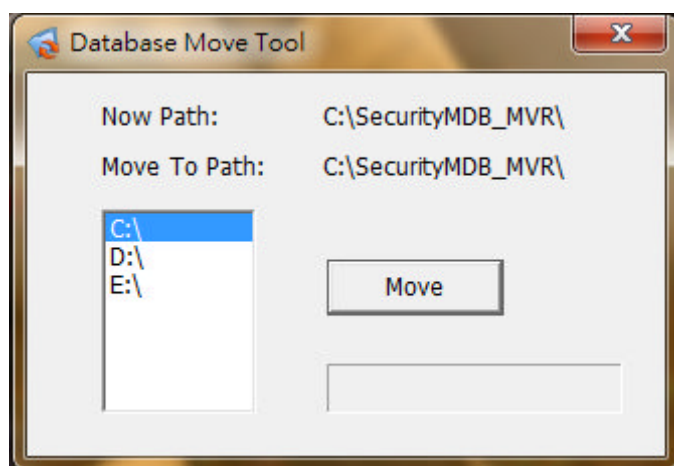
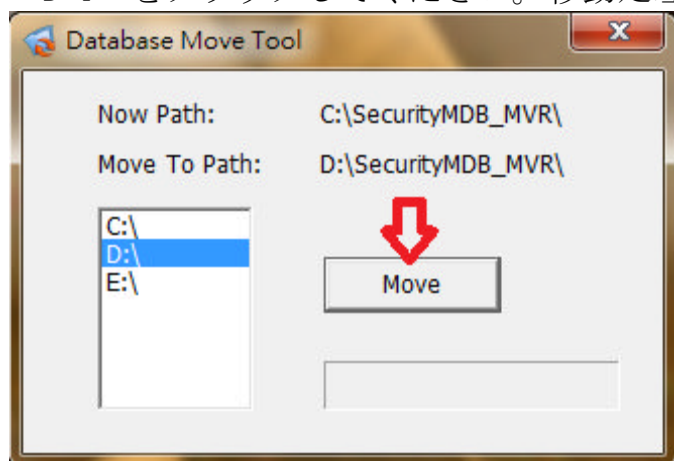
失われたファイルの回復の起動方法？

MVRサーバー（MVR_Player）ソフトウェアをオフにします。
次のように起動してください。
START → PROGRAMS → MVR CMS → LOST FILE RECOVERY

この関数は、MVR CMSソフトウェアによって記録されたファイルを回復するために使用します。
他のソフトウェアで記録されたファイルを回復するために使用することはできません。
押した後にメッセージウィンドウの下のように起動するプログラムが要求されます：

リカバリー･プロセスを開始するには Start をクリックしてください。
その後、以下のようにリカバリープロセスが開始します。

Stop を押すとリカバリープロセスが停止します。この操作で、リカバリーにエラーは発生する場合があります。
レコードファイルが既に以下のように回復されているというエラーがある場合、それが回復する結果が表示されます。

写真の下のようにリストで終了メッセージを要求します。

”失われたファイルの回復”プログラムを終了するには Exit をクリックしてください。

注意！：他のディスク再構築ソフトやデフラグツールは、予期しないエラーによってファイルを破損する恐れがあります使用しないでください。

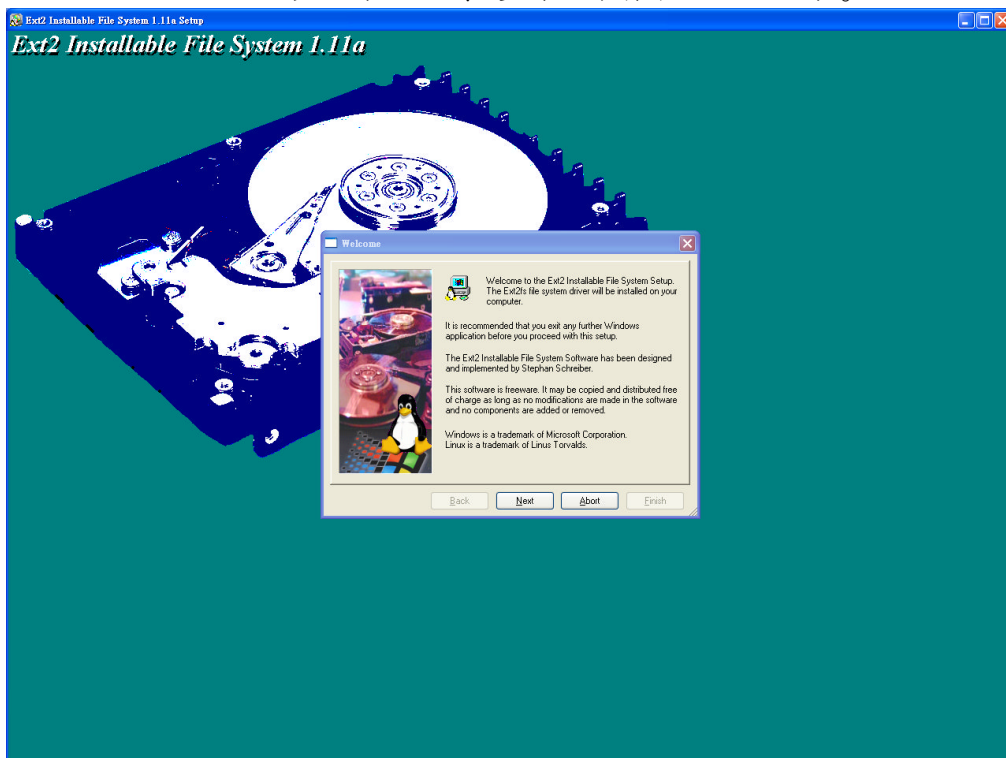
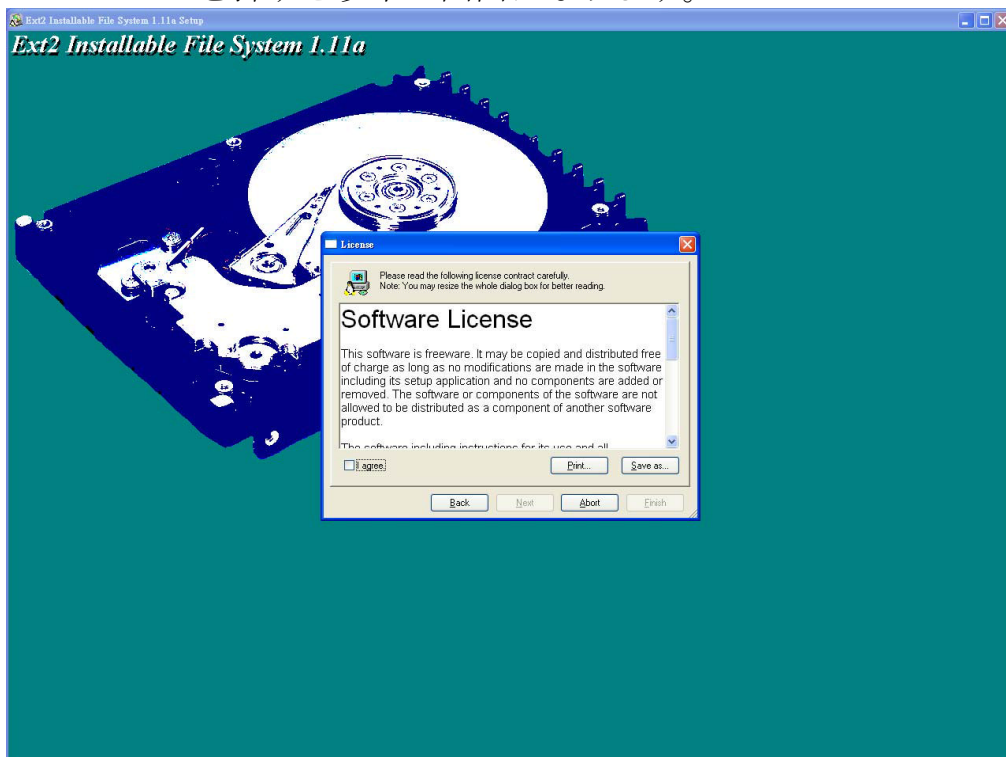
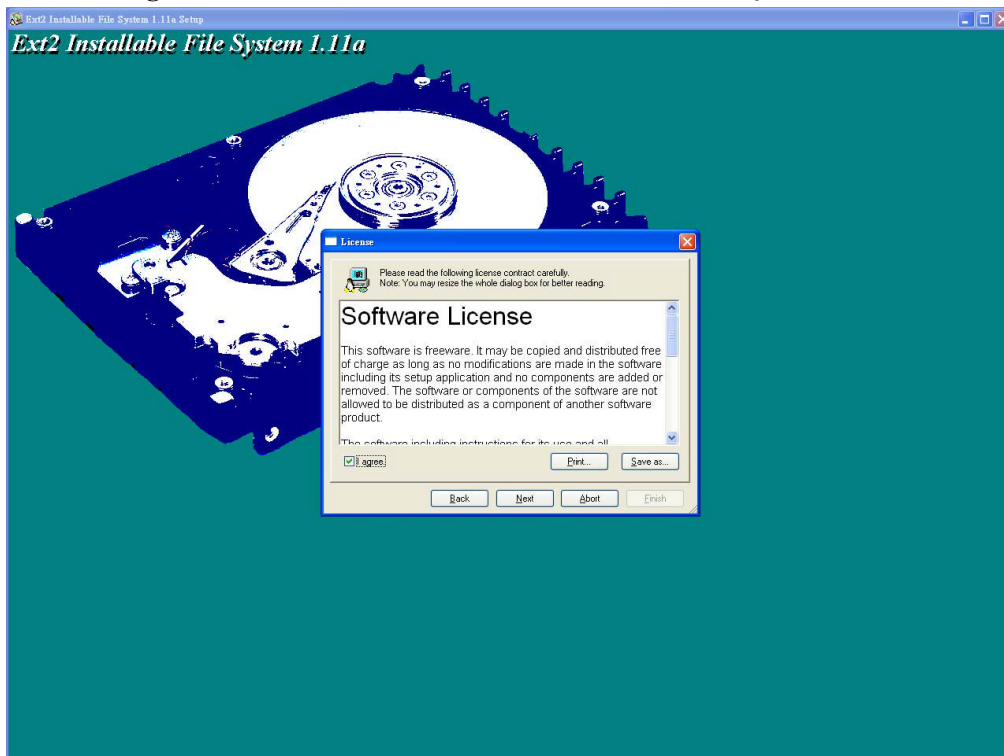
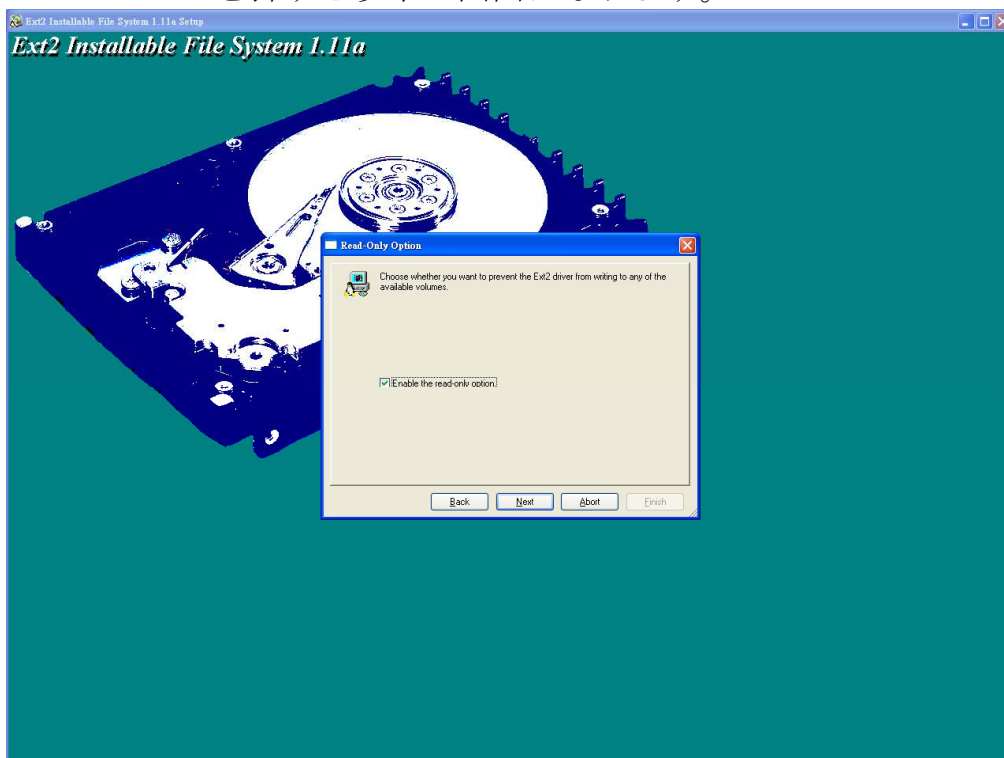
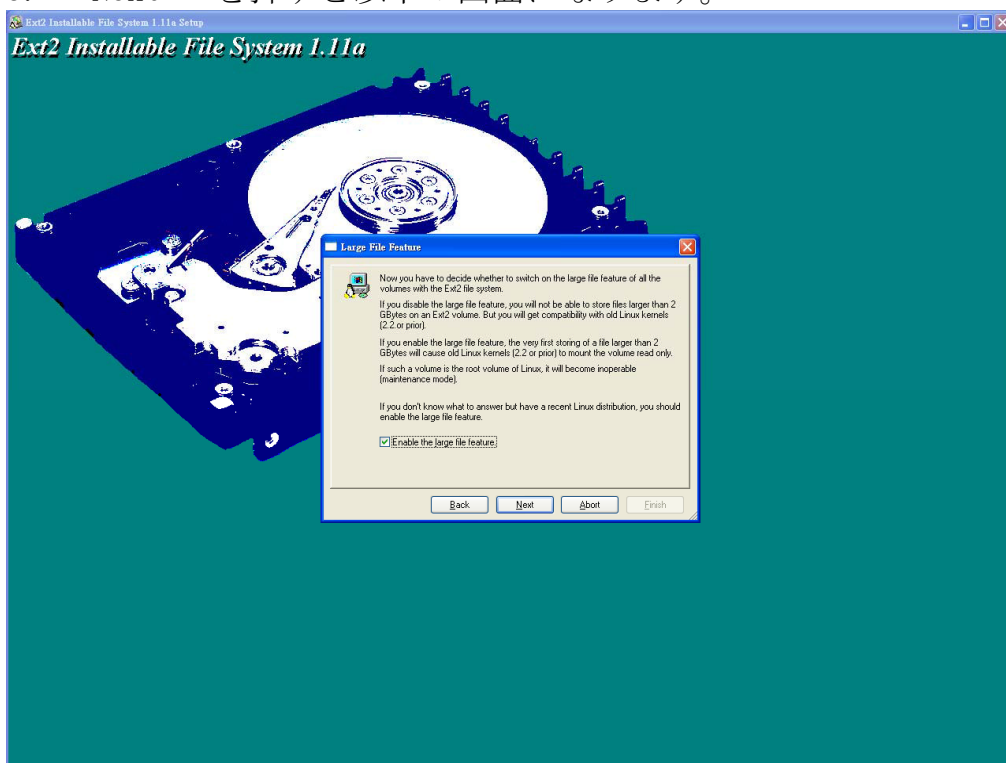
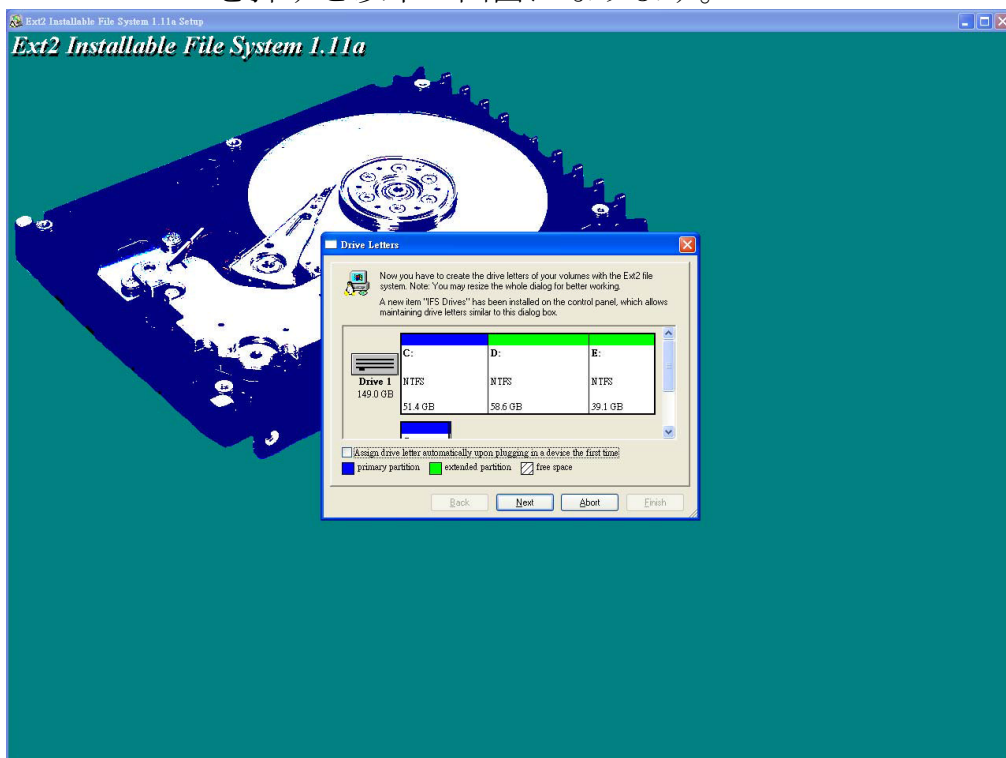
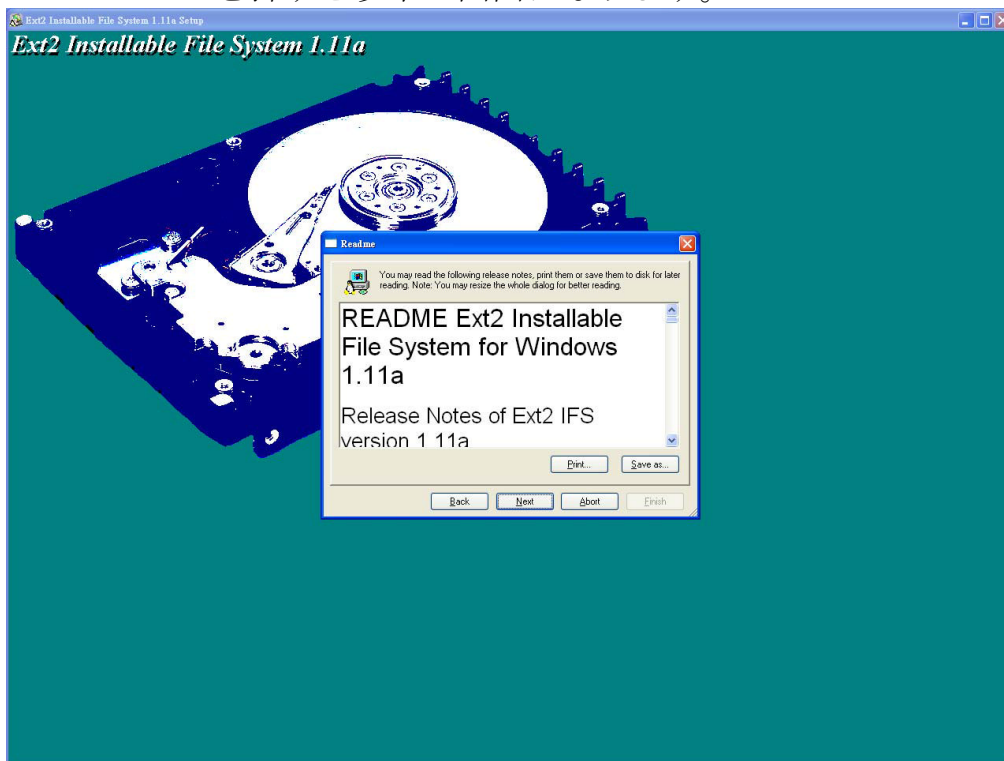
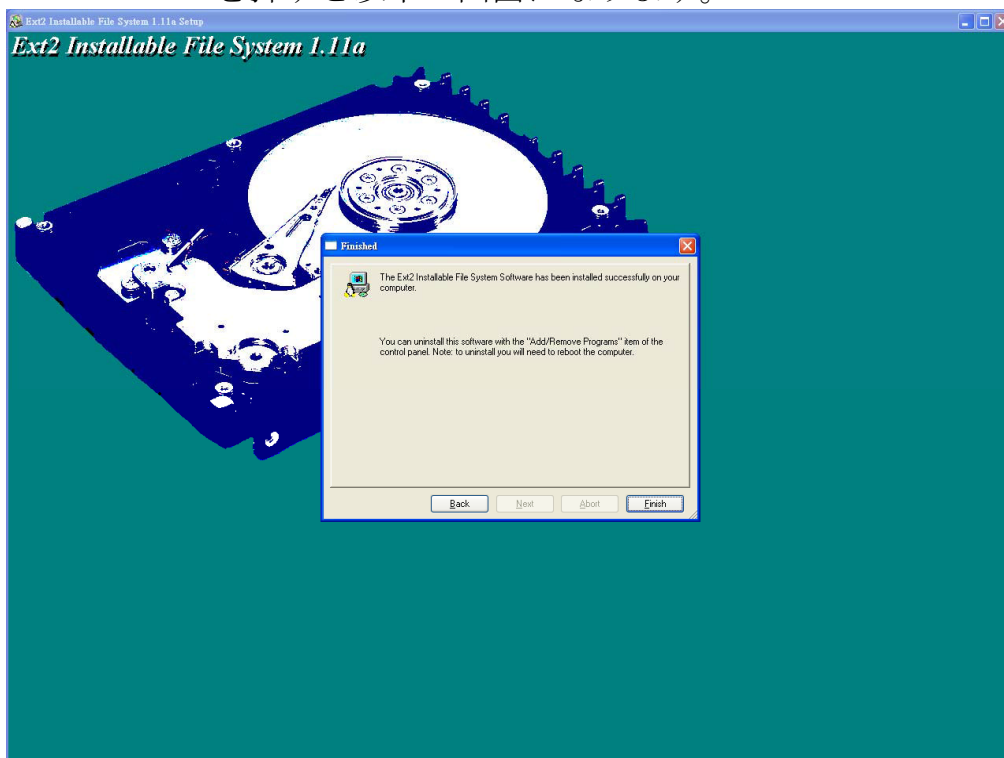
10.2 データベース移動ツールの使用方法:

MVRサーバー（MVR_Player）ソフトウェアをオフにします。
次のように起動してください。
START → PROGRAMS → MVR CMS → Database Move Tool
この関数は、他のディスクにデータベースを移動するために使用されます。
押した後にメッセージウィンドウの下のように起動するプログラムが要求されます：

例：
ハードドライブDへのハードディスクドライブCのデータベースを移動するには：
“D:¥”をクリックしてください。移動処理を廃止するには“Move”を押してください。

移動処理が完全に終了するまで待ってください。

付録A：

a. 下記ウェブサイトから，ext2IFSプログラムをダウンロードしてください。
http://www.fs-driver.org/download.html

b. ダウンロード後、手順を追ってインストールしてください。

1. ext2IFSをクリックすると、以下の画面となります。：

2. “Next”を押すと以下の画面になります。：

3. “I agree” を押すと以下の画面になります。:

4. “Next” を押すと以下の画面になります。:

5. “Next” を押すと以下の画面になります。：

6. “Next” を押すと以下の画面になります。：

7.　“Next”　を押すと以下の画面になります。：

8.　“Next”　を押すと以下の画面になります。：

9.　“Finish”を押します。

c.　SDをパソコンに差し込みます。MVR-100に記録されたファイルは、″録音″フォルダを参照することができます。

Appendix B:

Windows OS の PC で、ext2 のフォーマットをすることはできません。
SD カードを ext2 フォーマットするためには、linuxOS PC を準備するか、
Linux とダブルブートできる PC を準備しなければなりません。